

東北厚生局長 殿

学校法人 岩手医科大学
理事長 大堀 勉

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	50人
--------	-----

(注)前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	378人	47人	395.8人	看護業務補助	54人	診療エックス線技師	
歯科医師	116人	24人	116人	理学療法士	8人	臨床検査 衛生検査技師	74人
薬剤師	60人	人	60人	作業療法士	4人		その他
保健師	人			視能訓練士	5人	あん摩マッサージ指圧師	4人
助産師	36人	人	36人	義肢装具士		医療社会事業従事者	6人
看護師	1076人	人	1076人	臨床工学技士	18人	その他の技術員	57人
准看護師	6人		6人	栄養士	9人	事務職員	62人
歯科衛生士	38人	人	38人	歯科技工士	10人	その他の職員	3人
管理栄養士	16人	人	16人	診療放射線技	57人		

- (注)1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	864.5人	28.0人	892.5人
1日当たり平均外来患者数	1705人	395.4人	2100.4人
1日当たり平均調剤件数	外来 387 剤	入院 945.5 剤	

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤件数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・顎顔面補綴	2人
・HDRA法又はDC-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	0人
・超音波骨折治療法	0人
・SDI法による抗悪性腫瘍剤感受性試験	5人
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。
 2「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
・頸部内視鏡手術	6人
・ラジオ波焼却システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術	6人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人

(注) 1「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。
2「扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

3 その他の高度医療

医療技術名	取扱患者数	2 人
・多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術		
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人
医療技術名	取扱患者数	人

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入するこ

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	79人	・膿疱性乾癬	13人
・多発性硬化症	82人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・重症筋無力症	79人	・原発性胆汁性肝硬変	61人
・全身性エリテマトーデス	210人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	25人
・再生不良性貧血	54人	・混合性結合組織病	34人
・サルコイドーシス	124人	・原発性免疫不全症候群	8人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・特発性間質性肺炎	4人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	134人	・網膜色素変性症	48人
・特発性血小板減少性紫斑病	61人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	23人	・原発性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	157人	・神経線維腫症	31人
・大動脈炎症候群	40人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	5人	・バッド・キアリ (Budd-Chiari) 症候群	0人
・天疱瘡	21人	・特発性慢性肺血栓栓症 (肺高血圧型)	1人
・脊髄小脳変性症	45人	・ライソゾーム病 (ファブリー[Fabry]病) 含む	2人
・クローン病	136人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(肝接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋萎縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患	216人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4人
・後縦靭帯骨化症	28人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病 (ウイルス動脈輪閉塞症)	42人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	2人	・リンパ脈管筋腫症 (LAM)	0人
・特発性拡張型 (うっ血型) 心筋症	62人	・重症多形滲出性紅斑 (急性期)	0人
・多系統萎縮症	18人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症 (接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害	13人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下肝部分切除術	
・抗EGFR抗体医薬投薬前におけるKRAS遺伝子変異検査	

(注) 「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方式に先進医療から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1ヶ月に2回		
剖検の状況	剖検症例数	20 例	剖検率 4.7 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 千円	補助元又は委託元
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	1,700	補 厚生労働省難治性疾患克服研究事業(三森班)
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方のに関する研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	1,500	補 厚生労働省がん臨床研究事業(松野班)
関節リウマチ骨髄液中の疾患誘導因子解明と根治療法開発研究	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	8,000	補 厚生労働省免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業(越智班)
通信衛星を利用した遠隔病理診断(テレパソロジー)の試み	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	8,800	補 文部科学省宇宙利用促進調整委託費
EBウイルス小RNAIによるサイトカイン発現誘導	菅野 祐幸 黒瀬 顕 鎌滝 章央	病理学講座 先進機能病理学分野	2,243	補 私学振興事業団
EBウイルス小RNA発現T細胞株の血管内皮細胞接着・傷害活性の検討	中川 倫代 菅野 祐幸	病理学講座 先進機能病理学分野	255	補 私学振興事業団
病理診断によって左右される癌治療の均てん化のための病理診断講習会	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野	531	補 日本対がん協会
肝炎状況・長期予後の疫学に関する研究	阿部 弘一	内科学講座 消化器・肝臓内科	2,000	補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業(田中班)
経口感染する肝炎ウイルス(A型、E型)の感染防止、遺伝的多様性、および治療に関する研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科	1,000	補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業(矢野班)
B型肝炎ジェノタイプA型感染の慢性化など本舗における実態とその予防に関する研究	滝川 康裕	内科学講座 消化器・肝臓内科	1,000	補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業(溝上班)
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器・肝臓内科	14,700	補 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業(鈴木班)
糖尿病予防のための戦略研究・課題3	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	3,000	補 国際協力医学研究振興財団
糖尿病多発神経障害の臨床病期分類の確立と病期に基づいた治療ガイドラインの作成	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	800	補 厚生労働省 科学研究費補助金
岩手県内の1型糖尿病患者の実態調査と療養支援体制の構築	佐藤 譲	内科学講座 糖尿病・代謝内科	1,000	補 岩手県地域医療研究事業
心臓・血管検診クリニックによる一般住民を対象とした循環器疾患コホート研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科	2,000	補 公益信託日本動脈硬化予防研究基金
エビタス・インターネットを活用したアレルギー疾患の自己管理および生活環境改善支援システム、遠隔教育システム、患者登録・長期観察システムに関する研究	山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科	700	補 厚生労働省科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
IL-13 遺伝子多型気管支喘息患者に対する高用量吸入ステロイドの効果	中村 豊	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科	1,000	補 岩手県地域医療研究費補助金
岩手県における遠隔手術指導・支援の試み	若林 剛	外科学講座	1,000	補 岩手県地域医療研究事業
進行胃がんの生存率を向上させる標準的治療法の開発に関する研究	肥田 圭介	外科学講座	1,300	補 厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業 笹子班
薬剤耐性胃癌細胞株の樹立とそのタンパク分子プロファイル	西塚 哲	外科学講座	2,100	補 文部科学省研究費補助金(基盤C)
進行胃癌化学療法後切除例における組織マイクロアレイを用いた網羅的蛋白解析	肥田 圭介	外科学講座	1,600	補 文部科学省研究費補助金(基盤C)
大腸癌化学療法効果の分子生物学的評価のための蛋白定量解析	大塚 幸喜	外科学講座	80	補 文部科学省研究費補助金(基盤C)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究賞補助等の実績

食道扁平上皮癌の発生・進展に関するプロテインフォスファターゼの変異・機能解析	岩谷 岳	外科学講座	900	補 委 補	文部科学省研究費補助金 (基盤C)
炎症性腸疾患に対する局所療法剤の開発	板橋 哲也	外科学講座	900	補 委 補	文部科学省研究費補助金 (若手B)
微細構造形態による原発不明癌における鑑別診断の臨床採用	藤澤 健太郎	外科学講座	1,900	補 委 補	文部科学省研究費補助金 (若手B)
岩手県における「緩和ケア」の普及にむけた、双方向性テレビ会議システムの構築	木村 祐輔	外科学講座	1,000 (H22.2全額返済)	補 委 補	財産法人 笹川医学医療研究財団 平成21年度 ホスピス緩和ケアス タッフの発掘・啓発研究助成事業
ライセートアレイによる蛋白定量を用いた癌細胞薬剤反応の評価	西塚 哲	外科学講座	300	補 委	第47回日本癌治療学会学術集会 最優秀演題賞 副賞として
介護情報を活用した脳卒中治療連携体制が運動機能障害予防に及ぼす影響に関する大規模研究	小川 彰	脳神経外科学講座	13,000	補 委	厚生労働省 長寿科学総合研究 事業 厚生労働科学研究費補助 金(H19-長寿-一般-030)
悪性神経膠腫に対するTemozolomideの治療効果を増強した標準治療確立に関する研究	別府 高明	脳神経外科学講座	500	補 委	厚生労働省 がん臨床研究事業 厚生労働科学研究費補助金 (H20-がん臨床-一般-019) 渋井班
放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究	小川 彰	脳神経外科学講座	300	補 委	厚生労働省 がん臨床研究事業 厚生労働科学研究費補助金 (H21-がん臨床-一般-012) 山形嘉山
健診データを基盤として、慢性腎臓病該当者の医療費過剰支出と末期腎不全発症リスクを評価するデータベース構築研究	小川 彰	脳神経外科学講座	主任一括	補 委	厚生労働省 腎疾患対策研究事業 厚生労働科学研究費補助金 (H21-腎疾患-一般-003) 藤岡班
一過性脳虚血発作(TIA)の診断基準の再検討ならびにわが国の医療環境に則した適切な診断・治療システムの確立に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,000	補 委	厚生労働省 循環器疾患等生活 習慣病対策総合研究事業 厚生 労働省科学研究費補助金 峰松班
初期臨床研修制度の評価のあり方に関する研究	小川 彰	脳神経外科学講座	主任一括 6,400	補 委	厚生労働省 厚生労働科学特別 研究事業 厚生労働科学研究費 補助金 桐野高明班
SPECTを用いた脳血管病変診断法の標準化と臨床的評価	小川 彰	脳神経外科学講座	800	補 委	厚生労働省(国立循環器病センター)循環器病研究 委託費 19公-3 (主任研究者飯田秀博) 第Ⅱ 課題分担代着者宮本班
無症候性頸動脈狭窄症に対する治療方針の確立に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,500	補 委	厚生労働省(国立循環器病セン ター) 循環器病研究委託費 20 公-1 (主任研究者山田和雄)
非侵襲的脳活動計測技術の臨床応用	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	10,400	補 委	科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 (主任研究者吉岡芳親)
MRIを用いた非侵襲的脳循環不全検出法による頸動脈内膜剝離術中・後脳合併症の術前予知	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,000	補 委	財団法人先進医薬研究振興財 団 循環医学分野一般研究助成
医療機器市販後安全情報の医療機関への情報伝達手段等に関する研究	嶋村 正	整形外科科学講座	780	補 委	厚生労働科学研究費補助金(勝 呂徹班)
急性高度難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金 (小川班)
優性遺伝形式をとる遺伝性難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座	1,000	補 委	厚生労働科学研究費補助金 (宇佐美班)
小眼球による視覚障害の原因を特定するための疫学調査と診断・治療基準の創成	黒坂 大次郎	眼科学講座	2,000	補 委	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業(仁科 班)
先天白内障の原因究明と診断治療基準の創生	黒坂 大次郎	眼科学講座	2,500	補 委	厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業(東班)
ギャップ結合形成による腎癌抑制機序の解明	藤岡 知昭	泌尿器科学講座		補 委	地域医療研究事業
ビタミンDによる腎癌治療におけるレチノイド受容体の機能解析	藤岡 知昭	泌尿器科学講座	1,000	補 委	地域医療研究事業
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療	藤岡 知昭	泌尿器科学講座	4,000	補 委	文部科学省

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

障害者対策総合研究事業(精神障害分野)自殺対策のための複合的介入法の開発に関する研究	酒井 明夫	神経精神科学講座	700	補 委 補	厚生労働省
自殺対策緊急強化事業	酒井 明夫	神経精神科学講座	7,280	補 委 補	内閣府
自殺未遂対策推進事業	酒井 明夫	神経精神科学講座	17,954	補 委 補	岩手県
自殺対策のための戦略研究「複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究」	酒井 明夫	神経精神科学講座	7,120	補 委 補	厚生労働省
自殺対策のための戦略研究「自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネジメントの効果:多施設共同による無作為化比較研究」	酒井 明夫	神経精神科学講座	7,000	補 委 補	厚生労働省
自殺対策緊急強化事業	酒井 明夫	神経精神科学講座	7,099	補 委 補	内閣府
糖尿病患者における心血管イベント発症に関する後ろ向きコホートに関する研究	岡林 均	心臓血管外科学講座	761	補 委 補	厚生労働科学研究費補助金 糖尿病戦略等研究事業(坂田班)
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	岡林 均	心臓血管外科学講座	500	補 委 補	厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業(荻野班)
長期遠隔成績からみた糖尿病患者に対する至適冠血行再建法に関する研究(多施設共同レトロスペクティブコホート研究)	岡林 均	心臓血管外科学講座		補 委 補	厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業(小林班)
脊髄障害防止の観点からみた胸部下行・胸腹部大動脈瘤外科治療ないしはステントグラフト治療体系の確立	吉岡 邦浩	放射線学講座	300	補 委 補	厚生労働科学研究費
肝がんの治療効果判定についての研究	曾根 美雪	放射線学講座	1,000	補 委 補	厚生労働省がん研究助成金 19-23 (荒井班)
緩和ケアにおけるIVRの確立についての研究	曾根 美雪	放射線学講座	1,000	補 委 補	厚生労働科学研究費補助金 がん臨床研究事業 20-21 (荒井班)
類骨骨腫に対する経皮的ラジオ波凝固療法に関する研究	曾根 美雪	放射線学講座	700	補 委 補	厚生労働科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業 (遠藤班)
微量元素動態による放射線照射後のアポトーシス検出と、癌治療、放射線被曝評価の開発	原田 聡	放射線学講座	4,250	補 委 補	日本原子力研究開発機構-東京大学大学院工学系研究科原子力専攻、連携重点研究計画(原田班)No. 52051-3
CTによる閉塞性血管病変の診断法の開発-非侵襲的診断法の確立をめざして	田中 良一	放射線学講座	500	補 委 補	厚生労働科学研究費

計 件数:60件

金額:164,653千円

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Br J Dermatol 160(1):205-7,2009	A case of primary cutaneous natural killer/T-cell lymphoma, nasal type, with indolent clinical courses: monoclonal expansion of Epstein-Barr virus genome correlating with the terminal aggressive behavior.	Watabe D Kanno H Inoue-Narita T Onodera H Izumida W Kowada S Sawai T Akasaka T	病理学講座 先進機能病理学分野
Hum Pathol. 40:542-51,2009	Characterization of idiopathic diffuse alveolar damage.	Yamashita M Iwama N Date F Chiba R Ebina M Miki H Yamauchi K Sawai T Nose M Sato S Takahashi T Ono M	病理学講座 先進機能病理学分野
Hum Pathol 40(11):1553-63,2009	Macrophages participate in lymphangiogenesis in idiopathic diffuse alveolar damage through CCL19-CCR7 signal.	Yamashita M Iwama N Date F Shibata N Miki H Yamauchi K Sawai T Sato S Takahashi T Ono M	病理学講座 先進機能病理学分野
Cancer Biol Ther 8(5):452-7,2009	Diversity of DNA damage response of astrocytes and glioblastoma cell lines with various p53 status to treatment with etoposide and temozolomide.	Sato Y Kurose A Ogawa A Ogasawara K Traganos F Darzynkiewicz Z Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Vaccine 27:4808-17,2009	Co-administration of cholera toxin and apple polyphenol extract as a novel and safe mucosal adjuvant strategy.	Yoshino N Fujihashi K Hagiwara Y Kanno H Takahashi K Kobayashi R Inaba N Noda M Sato S	病理学講座 先進機能病理学分野
Clin Exp Rheumatol 27:587-93,2009	Examination of <i>in vivo</i> gelatinolytic activity in rheumatoid arthritis synovial tissue using newly developed <i>in situ</i> zymography and image analyzer.	Yoshida W Uzuki M Nishida J Shimamura T Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Intern Med 48(18):1661-6,2009	Small pancreatic cancer with pancreas divisum preoperatively diagnosed by pancreatic juice cytology.	Obana T Fujita N Noda Y Kobayashi G Ito K Horaguchi J Takasawa O Tsuchiya T Sawai T	病理学講座 先進機能病理学分野
Allergol Int 58(1):125-34,2009	Enhanced goblet cell hyperplasia in HDC knockout mice with allergic airway inflammation.	Yamauchi K Piao HM Nakadate T Shikanai T Nakamura Y Ito H Mouri T Kobayashi H Maesawa C Sawai T Ohtsu H Inoue H	病理学講座 先進機能病理学分野
Clinical Calcium 19(3):33(325)-46(338),2009	関節リウマチにおける関節炎の破壊に関する最近の病理学的話題	澤井 高志 宇月 美和	病理学講座 先進機能病理学分野
機器・試薬 32(3):326-36,2009	遠隔病理診断(テレパソロジー)の展望	澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
自己抗体と自己免疫2009 31-35,2009	MCTD患者に合併する肺高血圧症の病変とその発症機序の解析	鎌滝 章央 佐々木 信人 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
日消誌 106(8):1220-6,2009	主肺管への進展、浸潤をともなわないT1肺管癌の1例	菅野 良秀 洞口 淳 藤田 直孝 野田 裕 小林 剛 伊藤 啓 尾花 貴志 高澤 磨 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
岩手医誌 61(2):83-92,2009	関節リウマチ患者血清中のヒアルロン酸の分子量測定法とヒアルロニダーゼ活性に関する検討	佐々木 喜子 宇月 美和 駒ヶ嶺 正隆 澤井 高志	病理学講座 先進機能病理学分野
岩手医誌 61(2):93-101,2009	Epstein-Barr ウイルス陽性 natural killer 細胞による血管内皮細胞傷害の検討	浅井 大志 菅野 祐幸 赤坂 俊英	病理学講座 先進機能病理学分野

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Liver Int 629-635,2009	Neuropsychological assessment of hepatic encephalopathy:ISHEN practice guidelines.	Christopher Randolph Robin Hilsabeck Kato Akinobu Parampreet Kharbanda Yu-Yuan Li Daniela Mapelli Lisa D.Ravdin Manuel Romero-Gomez Andera Stracciari Karin Weissenborn	内科学分野 消化器・肝臓内科
Liver Int 621-628,2009	Georg Berding, Richard B.Banati, Ralph Buchert, Franca Chierichetti, Vijay P.B.Grover, Akinobu Kato.Susanne Keiding, Simon D, Taylor-Robinson	Watanabe Y Kato A Sawara K Roger F.Butterworth Sasaki T Terasaki K Sera K Suzuki K	内科学分野 消化器・肝臓内科
Hepatol Res 39(2):117-125,2009	Evaluation of newly developed combination therapy of intra-arterial 5-fluorouracil and systemic pegy lated interferon alpha-2b for advanced hepatocellular carcinoma with portal venous invasion:preliminary results.	Kasai K Kuroda H Ushio A Sawara K Takikawa Y Suzuki K	内科学分野 消化器・肝臓内科
癌と化学療法 36(3):479-483,2009	Three(3)Cases of advanced Hepatocellularcar cinoma(HCC) treated successfully by transcatheter arterial chemoembolization(TACE) using and Fine-powder formulated cisplatin(DDPH).	Kasai K Kuroda H Ushio A Miyamoto Y Sawara K Miyasaka A Takikawa Y Suzuki K	内科学分野 消化器・肝臓内科
Case Rep Gastroenterol 3:193-197,2009	Evaluation of infliximab effects on gastrointestinal bleeding in crohn's disease using Double-Balloon endoscopy.	Chowdhury M Kudará M Chiba T Endo M Akasaka R Tomita K Fujiwara S Mizutani T Sugai T Takikawa Y Suzuki K	内科学分野 消化器・肝臓内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American College of Gastroenterology 16:1-6,2009	An open-label prospective randomized multicenter study shows very rapid remission of ulcerative colitis by intensive granulocyte and monocyte adsorptive apheresis as compared with routine weekly treatment.	Sakuraba A Motoya S Watanabe K Nishishita M Kanke K Matsui T Suzuki Y Oshima T Kunisaki R Matsumoto T Hanai H Fukunaga K Yoshimura N Ghiba T Funakoshi S Aoyama N Andoh A Nakase H Mizuta Y Suzuki R Akamatsu T Iizuka M Ashida T Hibi T	内科学分野 消化器・肝臓内科
Hepatogastroenterology 56:1016-1021,2009	Serial changes of cytokines in acute ulcerative colitis: effects of antibiotic combination therapy.	Sato K Chiba T Ohkusa T	内科学分野 消化器・肝臓内科
Gastroenterol Res Pract vol.2009, Article ID 835258, 5 pages, 2009 doi: 10.1155/2009/835258	Characterization of follicular lymphoma in the small intestine using double-balloon endoscopy.	Chowdhury M Endo M Chiba T Kudara M Oana S Sato K Akasaka R Tomita K Fujiwara S Mizutani T Sugai T Takikawa Y Suzuki K	内科学分野 消化器・肝臓内科
J Hepatol 51:1021-1029,2009	Early prediction of short-term development of hepatic encephalopathy in patients with acute liver disease unrelated to paracetamol. A prospective study in Japan.	Takikawa Y Endo R Suzuki K Tsubouchi H on behalf of the Fulmimant Hepatitis Study Group of Japan	内科学分野 消化器・肝臓内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepatol Res 39:648-656,2009	Case-control study for the identification of virological factors associated with fulminant hepatitis B.	Kusakabe A Tanaka Y Mochida S Nakayama N Inoue K Sata M Isoda N Kang JH Sumino Y Yatsushashi H Takikawa Y Kaneko S Yamada G Karino Y Tanaka E Kato J Sakaida I Izumi N Sugauchi F Noriji S Joh T Miyakawa Y Mizokami M	内科学分野 消化器・肝臓内科
Hepatol int 3:468-479,2009	A randomized trial of versus 48 weeks of peginterferon α -2a in patients infected with chronic hepatitis C Virus genotype 2 or low viral load genotype 1 : a multicenter national study in Japan.	Iwasaki Y Shiratori Y Hige S Nishiguchi S Takagi H Onji M Yoshida H Izumi N Kohgo Y Yamamoto K Sato N Shibuya A Saito H Sata M Suzuki K Kaneko S Moriyama M Omata M	内科学分野 消化器・肝臓内科
第94回日本消化器病学会総 記念誌別冊 214-217,2009	罹病期間によるレミケード治療の有効性の検討	赤坂 理三郎 千葉 俊美 鈴木 一幸	内科学分野 消化器・肝臓内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cell Biology International 34(3):293-299,2010	Characterization of a novel murine preadipocyte line, AP-18, isolated from subcutaneous tissue.	Chen C Takahashi K Yoshida A Takizawa Y Lee Y Nakui M Doi H Takebayashi Y Fukumoto M Yamada T Katagiri H Oka Y Sato J	内科学分野 糖尿病・代謝内科
Diabetes Core 33(3):463-466,2010	Association of the TNF- α -C-85 γ T polymorphism with resistance to the cholesterol-lowering effect of HMG-CoA reductase inhibitors in type 2 diabetic subjects.	Takahashi T Takahashi K Yamashina M Maesawa C Kajiwara T Taneiche H Takebe N Kaneko Y Masuda T Sato J	内科学分野 糖尿病・代謝内科
J Iwate Med Associ 62(1):59-66,2010	Association of decrease in liver triglyceride content with increase in plasma adiponectin levels after pioglitazone treatment in Japanese patients with type 2 diabetes.	Nagasawa K Kaneko Y Taneichi H Ishii M Masuya M Homma H Kakino S Takahashi K Yoshioka Y Sato J	内科学分野 糖尿病・代謝内科
Circulation Cardiovascular Interventions June 264-267,2009	"Intracoronary Whirling Current Phenomenon" and Thrombus Formation After Sirolimus-Eluting Stent Implantation Visualized by Optical Coherence Tomography.	Itoh T Fusazaki T Kimura T Ogino Y Matsui H Sugawara S Gotoh I Nakamura M	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Int Heart J 50(4):465-476,2009	Long-term efficacy of upstream therapy using angiotensin-converting enzyme inhibitors and statins in combination with antiarrhythmic agents for the treatment of paroxysmal atrial fibrillation.	Komatsu T Tachibana H Sato Y Ozawa M Kunugida F Orii M Nakamura M	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Atherosclerosis 208(1):167-170,2009	Diabetic state as a crucial factor for impaired arterial elastic properties in patients with peripheral arterial disease.	Makita S Matsui H Naganuma Y Abiko A Tamada M Nakamura M	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Atherosclerosis 207:298-303,2009	Predictive value of plasma B-type natriuretic peptide for ischemic stroke : a community-based longitudinal study.	Takahashi T Nakamura M Onoda T Ohsawa M Tanno K Itai K Sakata K Sakuma M Tanaka F Makita S Yoshida Y Ogawa A Kawamura K Okayama A	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Clinical Therapeutics 31(10):2113-2125,2009	Prospective, randomized, single-blind comparison of effects of 6 months of treatment with telmisartan versus enalapril on high-molecular-weight adiponectin concentrations in patients with coronary artery disease.	Satoh M Tabuchi T Minami Y Takahashi Y Itoh T Nakamura M	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Journal of Arrhythmia 25(2):81-88,2009	Antithrombotic Therapy According to the Guidelines Issued by the Japanese Circulation Society in Patients with Nonvalvular Paroxysmal Atrial Fibrillation without Thromboembolic Risk Factors.	Ozawa M Komatsu T Tachibana H Sato Y Orii M Kunugida F Nakamura M	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Int Heart J 51(1):24-29,2010	Relationship between CHADS2 score and ischemic stroke during rhythm control therapy for paroxysmal atrial fibrillation.	Komatsu T Tachibana H Sato Y Ozawa M Kunugida F Orii M Nakamura M	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Int Heart J 51(2):98-104,2010	Efficacy of antiarrhythmic drug therapy in preventing recurrence of atrial fibrillation and long-term cardiovascular prognosis in patients with asymptomatic paroxysmal atrial fibrillation.	Komatsu T Tachibana H Sato Y Ozawa M Kunugida F Nakamura M	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ.J 74(4):792-797,2010	Plasma B-Type Natriuretic Peptide Level and Cardiovascular Events in Chronic kidney Disease in a Community-Based Population.	Sakuma M Nakamura M Tanaka F Onoda T Itai K Tanno K Ohsawa M Sakata K Yoshida Y Kawamura K Makita S Okayama A	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
診断と治療 97(5):959-965,2009	心房細動の診断 心房細動患者の検査の進め方	小松 隆 中村 元行	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Therapeutic Research 150(5):721-722,2009	開腹術後第3病日に血栓溶解療法を行った肺血栓塞栓症の1例	高橋 祐司 照井 克俊 中島 悟史 宮田 美智子 那須 和広 青木 英彦 肥田 圭介 遠藤 重厚 中村 元行	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
Therapeutic Research 30(7):1075-1083,2009	循環器領域でのHIT症例 -いつHITを疑ったか- 当施設で経験したヘパリン起因性血小板減少症(HIT)を生じた急性心筋梗塞症の3例	伊藤 智範 西山 理 酒井 敏彰 齋藤 雅彦 市川 隆 宮田 茂樹 肥田 圭介 長井 瑞祥 松井 宏樹 木村 琢己 房崎 哲也 金 一 片岡 剛 岡林 均 中村 元行	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
CCU実践マニュアル 209-215,2009	第4章致死性不整脈 致死性静脈性不整脈	橘 英明 小松 隆 中村 元行	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科
心臓 41(Suppl4):82-90,2009	I群抗不整脈薬ならびに短時間作用型β遮断薬の静注が無効であり、アミオダロン静注とover drive pacing が有効であった開心術後発作性心房細動の1例	小澤 真人 小松 隆 橘 英明 佐藤 嘉洋 梶田 房紀 中村 元行 猪飼 秋夫 岡林 均	
救急・集中治療 21(11・12):1497-1504,2009	IV循環管理のために Q14.大動脈バルーンパンピング(IABP)による補助循環法	長沼 雄二郎 伊藤 智範	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Modern Physician 29(9):1277-1280,2009	心房細動治療の最前線 発生機序から治療の実際まで血栓塞栓症のリスク評価と予知	小松 隆 中村 元行	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科学
冠疾患誌 16:47-53,2010	症例報告 エキシマレーザー冠動脈形成術併用で sirolimus-eluting stent を留置した慢性完全閉塞3例の遠隔期成績	房崎 哲也 伊藤 智範 肥田 龍彦 菅原 正麿 松井 宏樹 木村 琢己 折井 誠 中村 元行 光藤 和明	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科学
心臓 42(3):329-335,2010	慢性腎臓病と血清高感度CRP値との関連性 -地域住民における横断研究 (IWATE-KENCO study)	肥田 頼彦 高橋 智弘 瀬川 理恵 田中 文隆 小野田 敏行 坂井 一好 坂田 清美 川村 和子 岡山 明 中村 元行	内科学分野 心血管・腎・ 内分泌内科学
Allergology International. 58(1):55-61,2009	Analysis of the comorbidity of bronchial asthma and allergic rhinitis by questionnaire in 10,009 patients.	Yamauchi K Tamura G Akasaka T Chiba T Honda K Kishi M Kobayashi H Kuronuma T Matsubara A Morikawa T Ogawa H Ohta N Okada M Sasaki M Saito J Sano K Satoh M Shibata Y Takahashi Y Takanashi S Inoue H	内科学分野 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科学

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Allergology International. 58(1):125-134,2009	Enhanced Goblet Cell Hyperplasia in HDC Knockout Mice with Allergic Airway Inflammation.	Yamauchi K Piao H M Nakadate T Shikanai T Nakamura Y Ito H Mouri T Kobayashi H Maesawa C Sawai T Ohtsu H Inoue H	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
CHEST 136(2):545-553,2009	A new breath-holding test may noninvasively reveal early lung abnormalities caused by smoking and/or obesity.	Inoue H Yamauchi K Kobayashi H Shikanai T Nakamura Y Kizawa T Satou J Kohno N Mishima M Sasaki H Jack Hildebrandt J	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
Eur Respir J 34(6):1390-1398,2009	Pathogenic role of angiotensin and oxidized LDL in obstructive sleep apnoea.	Kizawa T Nakamura Y Takahashi S Sakurai S Yamauchi K Inoue H	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
アレルギー・免疫 16(9):1454-1460,2009	アレルギー検査法 検査の実際 in vivo 呼吸器検査 呼吸機能検査(気道過敏性試験、吸入誘発剤を除く)	鹿内 俊樹 井上 洋西	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
日本臨床 142-145,2009	農夫肺 過敏性肺炎 アレルギー性肺疾患 呼吸器症候群(第2版) その他の呼吸器疾患を含めて	毛利 孝 井上 洋西	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
Progress in Medicine 9(12):39(2009)-42(3012),2009	高齢者喘息における併存疾患の影響とその治療・管理の実際 2) 高齢者喘息とアレルギー性鼻炎	山内 広平	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
呼吸 29(1):48-54,2009	気管支喘息治療におけるアズマネックス (モメタゾンフランカルボン酸エステル)	山内 広平	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
日本胸部臨床 68:S166-S175,2009	職業性呼吸器疾患 職業性環境過敏性肺炎	毛利 孝 山内 広平	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
Progress in Medicine 29(1):25-29,2009	喘息コントロール・既存治療の現状と今後の展望 現状 ICS(合剤を含む)による早期治療介入の意義	鹿内 俊樹 山内 広平	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
アレルギー・免疫 16(5):716-731,2009	成人気管支喘息に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用散剤とフルチカゾンプロピオン酸エステル吸入用散剤との非盲検、非劣性比較試験	宮本 昭正 秋山 一男 足立 満 井上 洋西 大田 健	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科
アレルギー・免疫 16(5):732-745,2009	成人気管支喘息に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用散剤長期投与時の安全性および有効性の検討 他剤吸入ステロイド薬を使用した中等症患者を対象とした52週間長期投与試験	宮本 昭正 秋山 一男 足立 満 井上 洋西 大田 健	内科学分野 呼吸器・アレルギー 膠原病内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
アレルギー・免疫 16(5):716-731,2009	成人気管支喘息に対するモメタゾンフランカルボン酸エステル吸入用散剤トフルチカゾンプロピオン酸エステル吸入用散剤との非盲検、非劣性比較試験	宮本 昭正 秋山 一男 足立 満 井上 洋西 大田 健	内科学分野 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科
Int J Oncol 34(4):1085-1091,2009	CYP1B1, but not CYP1A1, is downregulated by promoter methylation in colorectal cancers.	Habano W Gamo T Sugai T Otsuka K Wakabayashi G Ozawa S	外科学講座
J Hepatobiliary Pancreat Surg 16(4):439-444,2009	Standardization of basic skills for laparoscopic liver surgery towards laparoscopic donor hepatectomy.	Wakabayashi G Nitta H Takahara T Shimazu M Kitajima M Sasaki A	外科学講座
Thyroid 19(6):657-659,2009	Mohs chemosurgery for local control of giant recurrent papillary thyroid cancer.	Tomisawa Y Ogasawara S Kashiwaba M Inaba T Takeda Y Sugimura Y Hatakeyama G Asahi H Wakabayashi G	外科学講座
J Hepatobiliary Pancreat Surg 16(4):495-409,2009	Status of endoscopic liver surgery in Japan: a questionnaire survey conducted by the Japanese Endoscopic Liver Surgery Study Group.	Tsuchiya M Otsuka Y Tamura A Nitta H Sasaki A Wakabayashi G Kaneko H	外科学講座
Int J Clin Oncol 14(4):315-320,2009	Ghrelin and leptin levels in cachectic patients with cancer of the digestive organs.	Takahashi M Terashima M Takagane A Oyama K Fujiwara H Wakabayashi G	外科学講座
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 19(4):338-340,2009	Laparoscopic surgery for splenic artery aneurysm.	Obuchi T Sasaki A Nakajima J Nitta H Otsuka K Wakabayashi G	外科学講座
Surg Today 39(10):870-875,2009	Laparoscopic subtotal cholecystectomy for severe cholecystitis.	Nakajima J Sasaki A Obuchi T Baba S Nitta H Wakabayashi G	外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol Hepatol 24(8):1401-1406,2009	Assessment of gastric motor function by cine magnetic resonance imaging.	Baba S Sasaki A Nakajima J Obuchi T Koeda K Wakabayashi G	外科学講座
Pathol Int 59(12):895-899,2009	Quantitative assessment of gene methylation in neoplastic and non-neoplastic gastric epithelia using methylation-specific DNA microarray.	Tamura G So K Miyoshi H Honda T Nishizuka S Motoyama T	外科学講座
Mol Cancer Ther 9(1):1-16,2010	Multifactorial Regulation of E-Cadherin Expression: An Integrative Study.	Reinhold WC Reimers MA Lorenzi P Ho J Shankavaram UT Ziegler MS Bussey KJ Nishizuka S Ikediobi O Pommier YG Weinstein JN	外科学講座
World J Surg (34):1086-1090,2010	Risk Factors for Early Postoperative Small Bowel Obstruction After Colectomy for Colorectal Cancer.	Nakajima J Sasaki A Otsuka K Obuchi T Nishizuka S Wakabayashi G	外科学講座
Endoscopy & Percutaneous Techniques 20(2):66-68,2010	Concomitant laparoscopic splenectomy and cholecystectomy. Surgical Laparoscopy.	Sasaki A Nitta H Otsuka K Kimura Y Obuchi T Wakabayashi G	外科学講座
Esophagus 7(1):59-6,2010	Surgical management of hiatus hernia with chronic gastric volvulus: report of two cases	Obuchi T Sasaki A Nakajima J Baba S Kimura Y Wakabayashi G	外科学講座
Surgery Today 40(2):176-180,2010	Laparoscopic Excision of Retroperitoneal Tumors : Report of Three Cases	Sasaki A Suto T Nitta H Shimooki O Obuchi T Wakabayashi G	外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Esophagus 6(3):201-204,2009	Multiple lesions of adenocarcinoma with extensive dysplasia in long-segment Barrett's esophagus treated with thoracoscopic surgery : a case report	Iwaya T Kimura Y Nishizuka S Uesugi N Noda Y Kimura T Koeda K Maesawa C Ikeda K Sasaki A Wakabayashi G	外科学講座
Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery 16(4):439-444,2009	Current Status and future of laparoscopic liver resection: Standardization of basic skills for laparoscopic liver surgery towards laparoscopic donor hepatectomy		外科学講座
Oncol Rep. 23(1):25-33,2010	Molecular analysis of single isolated glands in gastric cancers and their surrounding gastric intestinal metaplastic mucosa.	Sugai T Habano W Jiao YF Toyota M Suzuki H Tsukahara M Koizuka H Akasaka R Koeda K Wakabayashi G Suzuki K	外科学講座
癌と化学療法 37(3):396-8,2010	Laparoscopic liver resection	Sasaki A Nitta H Takahara T Fujita M Nakajima J Obuchi T Baba S Umemura A Otsuka K Wakabayashi G	外科学講座
岩手医誌 61(1):31-36,2009	肝細胞癌と腎細胞癌の同時性重複癌に対する1切除症例	星川 浩一 新田 浩幸 板橋 英教 高橋 正浩 佐々木 章 斎藤 和好 上杉 憲幸 菅井 有 藤岡 知昭 若林 剛	外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
岩手医誌 61(1):41-46,2009	術前診断が困難であった膵 solid pseudopapillary tumor の1切除例	藤田 倫寛 新田 浩幸 西塚 哲 石原 正久 板橋 英教 塩井 義裕 伊藤 直子 高原 武志 上杉 憲幸 若林 剛	外科学講座
乳癌の臨床 24(1):109-113,2009	原発乳癌における HER2/neu 細胞外ドメイン測定の有用性 -新規測定系ケミルミ Centaur-HER2/neu での日本人での検証	柏葉 匡寛 稲葉 亨 武田 雄一郎 小松 英明 滝山 郁雄 上杉 憲幸 若林 剛	外科学講座
病理と臨床 27(4):402-403,2009	高密度逆相蛋白質ライセートマイクロアレイ	田村 元 西塚 哲	外科学講座
岩手医誌 61(1):37-40,2009	腹腔鏡補助下に摘出した有鉤義歯誤嚥の1例	藤田 倫寛 細井 信之 玉澤 佳之 川崎 雄一郎 藤原 久貴 新田 浩幸 佐瀬 正博 若林 剛	外科学講座
日本臨床外科学会誌 70(4):962-967,2009	症状緩和手術としての胃空腸バイパス手術症例の臨床検討	梅邑 晃	外科学講座
医薬の門 49(2):170-172,2009	腹腔鏡下尾側膵切除術	中嶋 潤 佐々木 章 新田 浩幸 大淵 徹 馬場 誠朗 若林 剛	外科学講座
外科治療 100(増刊):555-562,2009	【マスターしておきたい標準的内視鏡外科手術】標準的腹腔鏡下肝切除術	藤田 倫寛 新田 浩幸 佐々木 章 若林 剛	外科学講座
臨床栄養 114(6):725-730,2009	【静脈・経腸栄養 UPDATE2009】ライフステージ別栄養ケア 超高齢者の周術期栄養管理(解説/特集)	富澤 勇貴 池田 健一郎	外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌の臨床 55(6):421-426,2009	【緩和ケアチームの現状と展望】 当院における緩和ケアチームの活動状況と今後の展望	木村 祐輔 池田 健一郎 曾根 美幸 渡部 雄輝 大畑 光彦 磯野 寿育 古屋 純一 織田 展輔 長澤 昌子 米沢 裕司 森 薫 中嶋 英一 佐藤 沙央里 齋藤 俊哉 青木 慎也 若林 剛	外科学講座
日本消化器病学会総会記念誌 104-109,2009	肝門部胆管癌に対する”胆管分離限界点”を意識した3-D integrated CTと3次元肝画像解析ソフトを用いた精緻な術前診断	佐々木 亮孝 高原 武志 新田 浩幸 若林 剛 近藤 匠 福永 潔 小田 竜也 大河内 信弘	外科学講座
臨床外科 64(8):1101-1106,2009	リンパ節転移からみた胆嚢癌に対する膵頭十二指腸切除の意義	佐々木 亮孝 若林 剛 小田 竜也 村田 聡一郎 大河内 信弘	外科学講座
岩手医誌 61(3):151-159,2009	シスプラチン抵抗性胃癌細胞集団の単離とその性質の検討	野田 宏伸 西塚 哲 石田 和茂	外科学講座
岩手医誌 61(3):161-176,2009	線管分離法を用いたmultiploid大腸癌の分子病理学的解析	小西 康弘 菅井 有 幅野 涉 大塚 幸喜 若林 剛	外科学講座
臨床外科 64(8):1101-1106,2009	【胆嚢癌根治手術をめぐる諸問題】 [PDの意義] リンパ節転移からみた胆嚢癌に対する膵頭十二指腸切除術の意義	佐々木 亮孝 若林 剛 小田 竜也 村田 聡一郎 大河内 信弘	外科学講座
癌と化学療法 36(5):769-772,2009	当科における再発乳癌に対する Capecitabine 療法の検討	稲葉 亨 柏葉 匡寛 武田 雄一郎 小松 英明 富澤 勇貴 滝山 郁雄 若林 剛	外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌と化学療法 36(12):2294-2296,2009	徐放化 Cisplatin の抗癌効果	杉立 彰夫 木村 祐輔 板橋 英教 野田 宏伸 石田 和茂 西塚 哲 大塚 幸喜 柏葉 匡寛 新田 浩幸 肥田 圭介 水野 大 佐々木 章 池田 健一郎 高森 吉守 若林 剛	外科学講座
胆道 23(5):756-761,2009	高齢者に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討	中嶋 潤 佐々木 章 大淵 徹 馬場 誠朗 高原 武志 新田 浩幸 池田 健一郎 若林 剛	外科学講座
Surgery Frontier 17(1):75-77,2010	栄養過多の具体的疾患とその対策	片桐 弘勝 佐々木 章 中嶋 潤 大淵 徹 木村 祐輔 西塚 哲 新田 浩幸 大塚 幸喜 肥田 圭介 水野 大 若林 剛	外科学講座 外科学講座
日本臨床外科学会雑誌 71(2):556-559,2010	鼠径ヘルニア偽還納の1例	岩谷 岳 川村 英伸 中嶋 潤 板橋 哲也 野田 芳範 若林 剛	外科学講座
日本臨床外科学会雑誌 70(10):3041-3045,2009	MDCTで術前診断し、腹腔鏡下虫垂切除術を施行した虫垂憩室炎の1例	武田 雄一郎 杉村 好彦 小川 雅彰 馬場 祐康 畠山 元 若林 剛	外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本腹部救急医学会雑誌 29(6):829-834,2009	腹膜炎手術においてドレーンを挿入すべきか否か 予防的ドレーン挿入の再検討	小鹿 雅博 佐藤 信博 八重樫 泰法 高橋 学 秋富 慎司 星川 浩一 青木 毅一 吉川 智宏 井上 義博 若林 剛 遠藤 重厚	外科学講座
胃と腸 44(9):1432-1440,2009	【背景粘膜からみた胃癌ハイリスクグループ】病理の立場からみた胃癌ハイリスクグループ 分子生物学的立場からみた胃癌発生: 粘液形質に基いた胃分化型粘膜内癌の分子病理学的解析	菅井 有 幅野 涉 遠藤 昌樹 赤坂 理三郎 小飯塚 仁彦 小西 康弘 無江 良晴 肥田 圭介 若林 剛 鈴木 一幸	外科学講座
癌と化学療法 36(6):991-994,2009	肺癌局所再発に対して有効であった化学放射線療法	大淵 徹 佐々木 章 下沖 収 皆川 幸洋 阿部 正 新田 浩幸 大塚 幸喜 肥田 圭介 池田 健一郎 若林 剛	外科学講座
Radiology 251(1) 241-249 2009	Difference in Tracer Delay-induced Effect among Deconvolution Algorithms in CT Perfusion Analysis : Quantitative Evaluation with Digital Phantoms.	Kudo K. Sasaki M. Ogasawara K. Terae S. Ehara S. Shirato H.	脳神経外科学講座
脳神経外科ジャーナル 18(4) 286-289 2009	未破裂脳動脈瘤手術は認知機能に影響を与えるか?	大田原 康成 小笠原 邦昭 山館 圭子 久保 慶高 樫村 博史 小川 彰	脳神経外科学講座
Neurosurgical Review 32(2) 193-197 2009	Mechanical and surface properties of Yasargil Phynox aneurysm clips after long-term implantation in a patient with cerebral aneurysm.	Otawara Y. Ogasawara K. Kubo Y. Kashimura H. Ogawa A. Watanabe K.	脳神経外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BRAIN and NERVE 61(6) 677-681 2009	悪性脳腫瘍の放射線治療における高気圧酸素の応用 -現状と今	別府 高明 田中 克之 合志 清隆	脳神経外科学講座
Neurologia medico-chirurgica 49(5) 225-227 2009	Application of fenestrated aneurysm clip for incomplete clamping of the common carotid artery during carotid endarterectomy -technical note-	Kobayashi M. Ogasawara K. Yoshida K. Otawara Y. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Neurologia medico-chirurgica 49(6) 258-261 2009	Malignant intracranial meningioma with spinal metastasis -case report	Kuroda H. Kashimura H. Ogasawara K. Sugawara A. Sasoh M. Arai H. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Neurosurgery 64(6) 1065-1072 2009	Prediction of cerebral hyperperfusion after carotid endarterectomy using middle cerebral artery signal intensity in preoperative single-slab 3-dimensional time-of-flight magnetic resonance angiography.	Kuroda H. Ogasawara K. Hirooka R. Kobayashi M. Fujiwara S. Chida K. Ishigaki D. Otawara Y. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Journal of Neurosurgery 111(1) 141-146 2009	Preoperative single-slab 3D time-of-flight magnetic resonance angiography Preoperative development of new cerebral ischemic events after carotid endarterectomy.	Suzuki T. Ogasawara K. Hirooka R. Sasaki M. Kobayashi M. Ishigaki D. Fujiwara S. Yoshida K. Otawara Y. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Pharma Medica 27(Suppl. 1) 7-9 2009	頸部頸動脈内膜剥離術後過灌流の発生、メカニズムにおけるフリーラジカルの役割	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of clinical neuroscience 16(8) 1064-1068 2009	Elevated concentrations of sphingosylphosphorylcholine in cerebrospinal fluid after subarachnoid hemorrhage : A possible role as a spasmogen.	Kurokawa T. Yumiya Y. Fujisawa H. Shirao S. Kashiwagi S. Sato M. Kishi H. Miwa S. Mogami K. Kato S. Akimura T. Soma M. Ogasawara K. Ogawa A. Kobayasu S. Suzuki T.	脳神経外科学講座
Stroke 40(9) 3012-3016 2009	Brain temperature measured using proton MR spectroscopy detects cerebral hemodynamic impairment in patients with unilateral chronic major cerebral artery steno-occlusive disease : comparison with positron emission tomography.	Ishigaki D. Ogasawara K. Yoshida Y. Chida K. Sasaki M. Fujiwara S. Aso K. Kobayashi M. Yoshida K. Terasaki K. Inoue T. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Neurological Research 31(7) 728-733 2009	Early post-ischemic hyperemia on transcranial cerebral oxygen saturation monitoring in carotid endarterectomy is associated with severity of cerebral ischemic insult during carotid artery clamping.	Kobayashi M. Ogasawara K. Suga Y. Chida K. Yoshida K. Otawara Y. Tsushima E. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Neurologia medico-chirurgica 49(9) 430-433 2009	Proton magnetic resonance spectroscopy and diffusion-weighted imaging of tumefactive demyelinating plaque -case report-	Masu K. Beppu T. Fujiwara S. Kizawa H. Kashimura H. Kurose A. Ogasawara K. Sasaki M.	脳神経外科学講座
脳と循環 14(3) 39-43 2009	インターベンションの時代の PET, SPECT	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Neurosurgery 110(5) 943-947 2009	Clinical and angiographic long-term outcomes of vertebral artery-subclavian artery transposition to treat symptomatic stenosis of vertebral artery origin.	Kakino S. Ogasawara K. Kubo Y. Kashimura H. Konno H. Sugawara A. Kobayashi M. Sasaki M. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Journal of Neurosurgery 110(39) 518-520 2009	Ruptured cerebral fusiform aneurysm with mucopolysaccharide deposits in the tunica media in a patient with Marfan syndrome.	Kubo Y. Ogasawara K. Kurose A. Kakino S. Tomitsuka N. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Clinical Nuclear Medicine 35(2) 126-127 2010	Spontaneous recovery of reduced cortical central benzodiazepine receptor binding potential on I-123 iomazenil SPECT in patient with status epilepticus.	Kuroda H. Ogasawara K. Aso K. Beppu T. Kobayashi M. Chida K. Ogawa A.	脳神経外科学講座
Cerebrovascular Diseases 29(4) 343-351 2010	Postcarotid endarterectomy improvement in cognition is associated with resolution of crossed cerebellar hypoperfusion and increase in ¹²³ I-iomazenil uptake in the cerebral cortex : a SPECT study.	Chida K. Ogasawara K. Aso K. Suga Y. Kobayashi M. Yoshida K. Terasaki K. Tsushima E.	脳神経外科学講座
Neurologia medico-chirurgica 50(3) 257-259 2010	Direct relief of levodopa-induced dyskinesia by stimulation in the area above the subthalamic nucleus in a patient with parkinson's disease -case report-.	Nishikawa Y. Kobayashi M. Oshima H. Fukaya C. Yamamoto T. Katayama Y. Ogawa A. Ogasawara K.	脳神経外科学講座
臨床画像 25(1):54-61,2009	脂肪性腫瘍の概念の変遷と画像診断	西田 淳 嶋村 正 江原 茂	整形外科科学講座
JBJS Am. 91:859-866,2009	Morphology of the Tibial Insertion of the Posterior Cruciate Ligament.	Tagima G Nozaki M Iriuchishima T Sheila J.M.Wei shen Patrick Smolinski Freddie H.Fu.	整形外科科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Imaging 33:70-74,2009	Dedifferentiated liposarcoma of the retroperitoneum with osteosarcomatous component:report of two cases	Toshiyasu T Ehara S Yamaguchi T Nishida J Shiraishi H	整形外科科学講座
整形外科 60(5):407-412,2009	腰部脊柱管狭窄症の術後成績－拡大開窓術後10年以上経過例の検討	山崎 健 村上 秀樹 吉田 知史 島谷 剛美 嶋村 正	整形外科科学講座
Med SCI monit 15(3):44-48,2009	Curettage with pasteurization in situ for grade 1 chondrosarcoma—long-term follow up study of less invasive surgical procedure.	Okada K Nagasawa H Chida S Nishida J	
Med sci Monit 15(7):cs117-122,2009	Clinical findings of hibernoma of the buttock and thigh:Rare involvements and extremely high uptake of FDG-PET	Nishida J Ehara S Shiraishi H Tada H Satoh T Okada K Shimamura T	整形外科科学講座
別冊整形外科 55:116-120,2009	陳旧性前腕骨折に対する創外固定器の延長およびオフセット機構の応用	古町 克郎 田島 克己 薄井 知道 沼田 徳生 西田 淳 嶋村 正	整形外科科学講座
Clinical and Experimental Rheumatology 27:587-593,2009	Examination of in vivo gelatinolytic activity in rheumatoid arthritis synovial tissue using newly developed in situ zymography and image analyzer.	Yoshida W Uzuki M Nishida J Shimamura T Sawai T	整形外科科学講座
別冊整形外科 56:2-7,2009	肩関節周辺骨折－肩甲骨関節窩骨折・肩甲骨頸部骨折への対応－	赤坂 俊樹 鈴木 善明 佐藤 和宏 榎引 孝昌 阿部 正隆 西田 淳 嶋村 正	整形外科科学講座
J Iwate Med Assoc 61(4):235-249,2009	Cloning and expression of rat plasma hyaluronan binding protein.	Sato K Shimizu S Murakami H Kishida K Katakura K Horiuchi S	整形外科科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of orthopaedics 14:348-365,2009	The subcommittee of the Clinical Outcome Committee of the Japanese Orthopaedic Association of Low Back Pain and Cervical Myelopathy Evaluation	Fukui M Chiba K Kawakami M Kikuchi S Konno S Miyamoto M Seichi A Shimamura T	整形外科科学講座
日本脊椎脊髄病学会 20(3):682-688,2009	Efficacy of the Japanese Orthopaedic Association Cervical Myelopathy Evaluation Questionnaire for Clinical Evaluation of Patients with Ossification of Posterior Longitudinal Ligament	Chiba K Fuki M Kanamori M Kawakami M Kikuchi S Konno S Nakai S Shimamura T Shirado O Seiichi A Takahashi K Taguchi T Takeshita K Tanaka Y Tani T Taniguchi S Toyama Y Wada E Miyamoto M Yonenobu K Hirata Y	整形外科科学講座
日本脊椎脊髄病学会雑誌 20:706-708,2009	Japanese Orthopaedics Association Back Pain Evaluation Questionnaire; Validation the JOABPEQ for measuring mental Health Problems in Patients with Lumbar Disc-Herniation and Lumbar Spinal Canal Stenosis	Taniguchi S Fukui M Chiba K Kanamori M Kawakami M Miyamoto M Nakai S Shimamura T Taguchi T Takeshita K Tanaka Y Tani T Wada E Yonenobu K	整形外科科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Knee Surg Sports Traumatol Arthosc. 17(6):590-594,2009	Intercondylar roof impingement pressure after anterior cruciate ligament reconstruction in a porcine model.	Iriuchishima T Tajima G InghamSJ Shen W Horaguchi T Saito A Smolinski P Fu FH.	整形外科学講座
日本手の外科学会誌 26(2):30-32,2010	橈骨遠位端骨折治療における掌側ロックングプレートと創外固定器の成績と合併症の検討	佐藤 光太郎 古町 克郎 田島 克己 鈴木 善明 嶋村 正	整形外科学講座
日本手の外科学会雑誌 25(5):637-640,2009	Intrafocal法による小児指節骨骨頭下骨折の治療経験	薄井 知道 古町 克郎 沼田 徳生 田島 克己 嶋村 正	整形外科学講座
日本手の外科学会雑誌 25(5):637-640,2009	血管柄付き橈骨移植によるキーンバック病の治療成績	古町 克郎 沼田 徳生 薄井 知道 西田 淳 嶋村 正	整形外科学講座
日本整形外科スポーツ医学会 30(1):23-27,2010	レクリエーションスポーツにおけるアキレス腱断裂—スポーツ頻度とストレッチが与える影響—	佐藤 光太郎 一戸 貞文 貝山 潤 亀井 陽一 大竹 伸平 嶋村 正	整形外科学講座
Med Sci Monit 16(5):207-212,2010	Comparison of the volar locking plate and the bridging external fixator in the treatment of distal radius fracture based on range of wrist motion assessed by functional radiography.	Sato K Furumachi K Nishida J Tajima K Kaiyama J Suzuki Y Shimamura T	整形外科学講座
Journal of Spine Research 1(7):1303-1308,2010	Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire(JOABPEQ):A Validity Study in Patients with Lumbar Spinal Canal Stenosis	Miyamoto M	整形外科学講座
Ann Plast Surg 62(6):633-636,2009	Reconstruction of cervical trachea using prefabricated corticoperiosteal flap from the femur with mucosal grafts.	Kashiwa K Kobayashi S Tohno H Nohara Sakurai S	形成外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Plast Reconstr Aesthet Surg 62:e341-344,2009	Orbicularis oris myomucosal island flap transfer to the nose.	Kashiwa K Kobayashi S Honda T Kudo S Kashiwaya G Nasu W Yasuoka T Fujiwara H	形成外科学講座
形成外科診療プラクティス 形成外科医に必要な皮膚腫瘍 の診断と治療 247-248,2009	悪性腫瘍:顔面:鼻:局所皮弁3 山本有平ほか編	小林 誠一郎 柏 克彦 本多 孝之	形成外科学講座
形成外科ADVANCEシリーズ 各種局所皮弁による顔面の 再建 最近の進歩 156-166,2009	浅側頭動脈系を用いた耳後部よりの皮膚弁 波利井清紀監 田原真也編	小林 誠一郎 柏 克彦	形成外科学講座
形成外科診療プラクティス 皮弁外科・マイクロサージャリー の実際 70-80,2010	拡大鼠径皮弁 百東比古ほか編	柏 克彦 小林 誠一郎	形成外科学講座
形成外科診療プラクティス 皮弁外科・マイクロサージャリー の実際 262-264,2010	腓腹神経付き皮弁 百東比古ほか編	柏 克彦 小林 誠一郎 木村 裕明	形成外科学講座
PEPARS 34:1-6,2009	遊離植皮と生着の原理	柏 克彦 遠野 久幸 小林 誠一郎 遠山 穠二郎	形成外科学講座
形成外科 52:S173-181,2009	頭部・顔面の形成外科 顔面骨骨折変形治癒の治療	柏 克彦 小林 誠一郎 本多 孝之	形成外科学講座
形成外科 52:1437-1448,2009	下肢癱痕拘縮に対する局所皮弁の適応とその工夫	柏 克彦 小林 誠一郎 木村 裕明 樋口 浩文 本多 孝之	
PEPARS 36:84-94,2009	下顎欠損への骨延長	柏 克彦 小林 誠一郎 本多 孝之	形成外科学講座
PEPARS 37:76-84,2010	下腿の穿通枝皮弁	柏 克彦 小林 誠一郎 木村 裕明	形成外科学講座
PEPARS 39:14-23,2010	慢性放射線潰瘍	柏 克彦 小林 誠一郎	形成外科学講座
日頭顎顔会誌 25:7-13,2009	小児顎関節硬直症の1例	細谷 優子 柏 克彦 荻野 和仁 小林 誠一郎	形成外科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
脳神経外科ジャーナル 19:237-240,2010	開頭術後骨感染症に対する遊離肋骨移植と遊離広背筋皮弁移植を用いた頭蓋形成術の1例	黒田 博紀 紺野 広 柏 克彦 子守林 靖一 杉浦 秀樹 遠藤 英雄 小林 誠一郎 小笠原 邦昭 小川 彰	形成外科学講座
形成外科診療プラクティス 顔面骨骨折の治療の実際 21-22,2010	顔面骨骨折における内視鏡の応用と限界	樋口 浩文 小林 誠一郎	形成外科学講座
形成外科診療プラクティス 顔面骨骨折の治療の実際 212-216,2010	内視鏡補助下頬骨骨折整復	樋口 浩文 小林 誠一郎	形成外科学講座
形成外科診療プラクティス 皮弁外科・マイクロサージャリー の実際 132-136,2010	血管吻合(端々、端側) 百束比古ほか編	木村 裕明 小林 誠一郎	形成外科学講座
J Pediatr 155(6):829-833,2009	Identification of severe combined immunodeficiency by T-cell receptor excision circles quantification using neonatal Guthrie cards	Morinishi Y Imai K Nakagawa N Sato H Horiuchi K Ohtsuka Y Kaneda Y Taga T Hisakawa H Miyaji R Endo M Oh-Ishi T Kamachi Y Akahane K Kobayashi C Tsuchida M Morio T Sasahara Y Kumaki S Ishigaki K Yshida M Urabe T Kobayashi N Okimoto Y Janine Reichenbach Hashii Y Tsuji Y Kogawa K Yamaguchi S Kanegane H Miyawaki T Yamada M Ariga T Nonoyama S	小児科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Renal Fail 32(3):349-55,2010	Renal plasma flow and glomerular filtration rate during acute kidney injury in man	Prowle JR Ishikawa K May CN Bellomo R	小児科学講座
Intensive Care Med. 36(3):533-40,2010	The impact of experimental hypoperfusion on subsequent kidney function.	Saotome T Ishikawa K May CN Birchall IE Bellomo R	小児科学講座
岩医誌 60:385-393,2009	先天性心疾患は子どもだけのものか?	小山 耕太郎	小児科学講座
小児内科 41:507-511,2009	熱性けいれん	亀井 淳	小児科学講座
盛岡赤十字病院 18:1-5,2009	インフルエンザ菌b型による劇症型髄膜炎の幼児例	田中 健太郎 大和田 毅 泉山 直久 高野 長邦 小林 有一 千田 勝一	小児科学講座
周産期医学 39:967-970,2009	サーファクタント補充療法	千田 勝一 葛西 健郎	小児科学講座
日肺サーファクタント界面医会 40:75-81,2009	SP-BとSP-Cの構造および機能	武井 恒知 木戸 博 千田 勝一	小児科学講座
日肺サーファクタント界面医会 40:87-93,2009	新生児呼吸管理と合成肺サーファクタント	千田 勝一	小児科学講座
日肺サーファクタント界面医会 40:153,2009	肺魚(魚類)とメキシコサラマンダー(両生類)の肺洗浄液の分析:リン脂質組織とサーファクタント蛋白	佐々木 美香 千葉 陸実 塚原 央之 千田 勝一 松村 豪一	小児科学講座
日アフェレンス会誌 28:241-245,2009	アフェレンスと希少疾患 川崎病に対する白血球除去療法	佐々木 美香 千葉 陸実 塚原 央之	小児科学講座
小児内科 41:1707-1711,2009	便秘の原因と発症メカニズム	塚原 央之 千葉 陸実 白澤 聡子 佐々木 美香	小児科学講座
日周産期・新生児会誌 45:1025-28,2009	早産の予防 岩手県における早産予防対策の効果	福島 明宗 西郡 秀和 金杉 知宣 杉山 徹 松本 佐々木 智子 葛西 健郎 千田 勝一	小児科学講座
Annual Review 腎臓 2010 177-183,2010	低出生体重児に対する血液浄化療法	高田 彰	小児科学講座
Audiology Japan 52(2):106-111,2009	突発性難聴における酸化ストレスの検討	菊池 淳 大塚 尚志 山崎 一春 佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int J Pediatr Otorhi Extra:105-110,2009	I diopathic cerebrospinal fluid leakage from a patent fallopian canal involving arechnoid cyst in an infant : A case reort.	Yamazaki K Sato H Kamei A Akasaka M	耳鼻咽喉科学講座
The Open Otorhinolaryngology Journal 3:36-39,2009	Labyrinthine cyst arising in a longstanding cavity after a canal wall down mastoidectomy.	Sato H Fukuda K Mizukawa A Nakasato T Uesugi N	耳鼻咽喉科学講座
耳鼻臨床 103(1):9-13,2010	回転性めまいを主訴とした脳表へモジデリン沈着症例	大塚 尚志 大塚 千久美 米澤 久司 館田 勝 石島 健 佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学講座
Experimental Eye Reserch 88:92-98,2009	Asymetory of focal maculer photopic negative responses (PhNRs) in monkeys.	Kurimoto Y Kondo M Ueno S Sakai T Machida S Terasaki H	眼科学講座
日本眼科学会雑誌 113:526-531,2009	戦略企画会議から 女性医師、病欠者の対応に関するアンケート報告	木下 茂 根木 昭 井上 幸次 黒坂 大次郎 坂本 泰二 外園 千恵 松下 卓郎	眼科学講座
あたらしい眼科 26:260-262,2009	糖尿病網膜症術後に硝子体出血が遷延化した症例のVascular Endothelial Growth Factor 濃度	小林 貴樹 早坂 朗 石部 禎 黒坂 大次郎	眼科学講座
眼科ケア 11:543-547,2009	着色眼内レンズの効用	黒坂 大次郎	眼科学講座
J Iwate MED Assoc 61:17-22,2009	Safety of invitravitreial administration of devacizumad for age-related degeneration evaluated by full-field and focal macular electroretinograms.	Shioya S Machida S Kurosaka D	眼科学講座
日本の眼科 80:577-580,2009	白内障における新技術と倫理	黒坂 大次郎	眼科学講座
日本の眼科 80:439-442,2009	小児白内障の治療	黒坂 大次郎	眼科学講座
あたらしい眼科 26:1065-1068,2009	白内障手術教育の進化	黒坂 大次郎	眼科学講座
あたらしい眼科 5:661-662,2009	後期臨床医研修日記	鎌田 有紀	眼科学講座
日本の眼科 80:293-298,2009	「眼疾患と動物モデル」をより理解するために動物モデルの網膜・視神経機能解析	町田 繁樹	眼科学講座
眼科ケア 11:908-914,2009	ここにフォーカス！多焦点レンズ眼内レンズ編 基礎知識	黒坂 大次郎	眼科学講座
眼科ケア 11:1017-1023,2009	ここにフォーカス！多焦点レンズ眼内レンズ編 応用知識	黒坂 大次郎	眼科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
からだの科学 263:113-115,2009	QOLを下げる眼の病気とその治療 白内障	黒坂 大次郎	眼科学講座
日本眼科学会雑誌 113(9):899-900,2009	白内障手術における抗菌薬の予防投与	黒坂 大次郎	眼科学講座
眼科臨床紀要 2:633-657,2009	当科で経験したアカントアメーバ角膜炎の4症例の検討	石川 陽平 木村 桂 木澤 明美 新田 順福 金子 宗義 藤原 貴光 町田 繁樹 黒坂 大次郎	眼科学講座
Jpn J Ophthalmal 53:546-563,2009	Predominant Loss of Rod-Mediated Electroretinogram Response in Case of Acute Annular Outer Retinopathy	Yokoyama D Machida S Takahashi T Tamada K Kurosaka D	眼科学講座
眼科手術 22:491-492,2009	AMO社製TECNIS1Piese眼内レンズ(モデル:ZCB)	早川 真奈 黒坂 大次郎	眼科学講座
眼科ケア 11(11):104-110,2009	ここにフォーカス!多焦点レンズ 眼内レンズ編 実践①	黒坂 大次郎	眼科学講座
眼科ケア 11(12):73-79,2009	ここにフォーカス!多焦点レンズ 眼内レンズ編 実践②	黒坂 大次郎	眼科学講座
Jpn J Ophthalmal 53:608-614,2009	Photopic Negative Response of Full-field and Focal Macular Electroretinograms in Patients with Optic Atrophy	Tamada K Machida S Yokoyama D Kurosaka D	眼科学講座
Current Eye Reseach 35(2):155-164,2010	Correlation between Photopic Negative Response of Focal Electroretinograms and Local Loss of Retinal Neurons in Glaucoma	Tamada K Machida S Oikawa T Miyamoto H Nishimura T Kurosaka D	眼科学講座
Ocular immunology & inflammation 18(1):44-45,2010	Mutton Fat-like Subretinal Precipitates Associated with Vogt-Koyanagi-Harada Disease	Hamabata K Hashizume K Ishikawa Y Fujiwara T Machida S Kurosaka D	眼科学講座
あたらしい眼科 27(2):158-164,2010	特集 眼のかすみ 眼のかすみを起こす疾患(2) 白内障	黒坂 大次郎 浦上 千佳子	眼科学講座
Br J ophthalmal 94:202-208,2010	Sensitivity and specificity of photopic negative response of focal electroretinogram to detect glaucomatous eyes	Machida S Tamada K Yokoyama D Kaneko M Kurosaka D	眼科学講座
神経眼科 27(1)65-75,2010	網膜視神経細胞に由来するERGの成分 -Photopic Negative Response(PhNR)-	町田 繁樹	眼科学講座
眼科 52(3):293-304,2010	ERGの神経節細胞成分 PhNR -Photopic negative response of ERG driven by retinal ganglion cells-	町田 繁樹	眼科学講座
IOL&RS 24(1):72-74,2010	白内障・屈折手術の論点 コアキシャル フェイコ	黒坂 大次郎 鎌田 有紀	眼科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
IOL&RS 24(1):113-117,2010	TECHNIS 1-Piece(ZCBoo)の術後早期成績の検討	早川 真奈 木村 桂 濱端 久仁子 黒坂 大次郎	眼科学講座
今日の治療指針(医学書院) 910-911,2010	膀胱腫瘍	藤岡 知昭	泌尿器科学講座
泌尿紀要 56:67-69,2010	対談シリーズ13 第98回日本泌尿器科学会	藤岡 知昭 小川 修	泌尿器科学講座
中外医学社 30-31,2010	前立腺癌診療 こんなときどうするQ&A -前立腺癌スクリーニングではPSA検査が最も精度が高いそうですが、直腸診は必要ないのでしょうか？-	藤岡 知昭 (編集:寛 善行)	泌尿器科学講座
日泌2010年卒後教育テキスト 15(1):170-178,2010	第7章 下部尿路閉鎖性疾患:前立腺肥大症の診断と治療 II.前立腺肥大症の診断と治療	大森 聡	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 64(4増):261-263,2010	泌尿器科検査のここがポイント K超音波検査【各種臓器の超音波検査】超音波検査による残尿測定「Q67 残尿測定の方法、近似式の使い方について教えてください。」	大森 聡	泌尿器科学講座
EBM透析療法 (中外医学社) 2010-2011:56-60,2010	II.血液浄化法の選択と条件設定 3.急性腎障害に対し、どのタイミングで血液浄化療法を開始し、どの治療法を選択すべきか？	阿部 貴弥 藤岡 知昭 (編集:深川 雅史、 秋澤 忠男)	泌尿器科学講座
急性血液浄化法徹底ガイド 第2版(総合医学社) 259-265,2010	VII.最近注目されている血液浄化法 Q.43 ECAD(extracorporeal albumin dialysis)・アルブミン透析	阿部 貴弥 (渡邊 志保) (深川 雅史) (編集:篠崎 正博 秋澤 忠男)	泌尿器科学講座
急性血液浄化法徹底ガイド 第2版(総合医学社) 74-81,2010	III.急性血液浄化法の実際 Q.15 血漿交換(PE, CPE)	阿部 貴弥 (伊藤 純) (深川 雅史) (編集:篠崎 正博 秋澤 忠男)	泌尿器科学講座
改定3版 患者指導に役立つ 透析患者の検査値ハンドブック (MCメディカ出版) 117-125,2010	21.トリグリセライド(TG)	阿部 貴弥 (監修:斎藤 明)	
透析ケア 16(3):38(248)-44(254),2010	特集SPECIAL EDITION 4関節が痛む!腫れる!曲がらない!	阿部 貴弥 (青木 裕)	泌尿器科学講座
兵庫県透析医会会誌 22:10-17,2010	第51回パネルディスカッション 無酢酸透析液を考える-無酢酸透析液の課題について-	阿部 貴弥	泌尿器科学講座
医薬ジャーナル 2010:90-97,2010	インフォームドコンセントのための図解シリーズ 17.膀胱癌	小原 航 藤岡 知昭 (監修:吉田 修、 編集:大園 誠一郎 赤座 英之)	泌尿器科学講座
MEDICAL VIEW 158-165,2010	Urologic Surgery-6 尿路変更術・尿路再建術 Psoas hitch法	小原 航 丹治 進 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
泌尿器外科 23(5):715-718,2010	連載 第12回 -泌尿器科における各種ガイドラインの読み方- 腎癌診療ガイドライン	小原 航 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
日本臨牀 68(4増):67-72,2010	腎・泌尿器癌-基礎・臨床研究のアップデート I.腎癌 臨床研究 診断腎癌診療ガイドライン	小原 航 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
腎泌予防医誌 18(1):24-27,2010	ペプチドワクチン療法による筋層非湿潤せい膀胱癌の再発予防の可能性	小原 航 藤岡 知昭	泌尿器科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本臨床 68(4増):155-158,2010	腎・泌尿器癌—基礎・臨床研究のアップデート I.腎癌 臨床研究 治療腎癌の分子標的治療 その他の分子標的約	小原 航 岩崎 一洋 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
膀胱癌 FRONTIER 2(1):38-41,2010	—腫瘍マーカーの進歩— MVAC感受性予測遺伝子検査法	高田 亮 小原 航 加藤 陽一郎 (片桐 豊雅) (中村 祐輔) 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 (医学書院) 64(2):161-165,2010	腎盂結石の治療を契機に診断された膀胱虫垂癭	常盤 傑 藤島 洋介 小原 航 丹治 進 藤岡 知昭 大塚 幸喜	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 (医学書院) 64(4増):214-218,2010	泌尿器検査のここがポイント MRI検査 Q56.膀胱がんのMRI所見、 鑑別診断について教えてください	常盤 傑 曾根 美雪	泌尿器科学講座
岩手公衆衛生学会誌 21(2):1-17,2010	生体内セレンの臨床・疫学的重要性 ～透析患者コホートKAREN研 究3年追跡調査結果～	藤島 洋介	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 (医学書院) 64(6):433-437,2010	メスナ、アドリアマイシン、イホスファミドおよびダカルバジン併用療 法が奏効した再発性後腹膜平滑筋肉腫	松浦 朋彦 加藤 廉平 小原 航 藤岡 知昭 上杉 憲幸 菅井 有	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 (医学書院) 64(5):345-348,2010	画像診断 慢性腎不全患者においてPET/CT検査を契機に見られ た膀胱癌	加藤 廉平 常盤 傑 小原 航	泌尿器科学講座
今日の治療指針 (医学書院) 847-848,2009	精巣腫瘍	藤岡 知昭 (編集:山口 徹 北原 光夫、 福井 次)	
MEDICAL VIEW 50-60,2009	Urologic Surgery-3 腎細胞癌および上部尿路癌の手術 根治的腎摘 除術/下大静脈腫瘍栓(cT3b)の手術:肝静脈腫瘍栓(心房内進展例 を含む)の手術	藤岡 知昭 丹治 進 小原 航	泌尿器科学講座
Urology Today 16:4-10,2009	腎癌診療ガイドライン	藤岡 知昭 小原 航	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 63(4増):50,2009	ブラキ外来 (メディカルエッセイ)	丹治 進	泌尿器科学講座
がんペプチドワクチン療法 63-70,2009	臨床編 3.膀胱癌 —新規腫瘍抗原(MPHOSPH1,DEPDEC1)を利用 したワクチン療法—	小原 航 兼平 貢 高田 亮 藤岡 知昭 (編集:中村 祐輔)	泌尿器科学講座
がんペプチドワクチン療法 71-75,2009	臨床編 4.腎がん —新規腫瘍抗原(HIG2)を利用したワクチン療法	小原 航 高田 亮 藤岡 知昭 (編集:中村 祐輔)	泌尿器科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
泌尿器外科 22(臨増):277-279,2009	新規腫瘍抗原遺伝子MPHOSP1およびDEPDC1由来HLA-A24拘束性エピトープペプチドを用いた腫瘍特異的ワクチン療法 (シンポジウム/湿潤性膀胱癌の治療-新しい試み)	小原 航 兼平 貢 高田 亮 (角田 卓也) (片桐 豊雅) (吉田 浩二) (中村 祐輔) 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 63(1):61-65,2009	腹部大動脈解離を合併した左腎動脈瘤・左腎動脈瘻	加藤 香廉 小原 航 大澤 泰介 丹治 進 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
癌の臨床 55(5):47-53,2009	湿潤性膀胱癌に対するNVAC化学療法感受性予測法によるオーダーメイド術前化学療法	高田 亮 加藤 陽一郎 兼平 貢 小原 航 (片桐 豊雅) (中村 祐輔) 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
臨床泌尿器科 63(1):39-45,2009	膀胱癌ワクチン療法:網羅的遺伝子発現情報解析による標的分子の同定	兼平 貢 高田 亮 小原 航 藤岡 知昭	泌尿器科学講座
岩手医誌	腎癌におけるビタミンD活性化関連遺伝子CYP27A1/CYP27B1/CYP24の発現と活性型ビタミンD添加による発現の変化	大澤 泰介	泌尿器科学講座
腎臓予防医誌 17(1):12-125,2009	透析患者におけるC型肝炎感染と死亡リスクとの関連	藤島 洋介 加藤 香廉 大澤 泰介 近田 龍一郎 藤岡 知昭 大澤 正樹 丹野 高三 坂井 一好 坂田 清美	泌尿器科学講座
J Epidemiol 20(1):30-39,2010	Standardized Prevalence Retion for Chronic Hepatitis C Virus Infection Among Adult Japanese Hemodialysis Patients	Ohsawa M Kato K Itai K Tanno K Fujishima Y Konda R (Okayama A) Abe K Suzuki K Nakamura M Onoda T (Kawamura K) Sakata K (Akiba T) Fujioka T	泌尿器科学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Actuelle Urol Jan;41 Suppl.1:S41-S45,2010	Study of the prediction system for clinical response to M-VAC neoadjuvant chemotherapy for bladder cancer.	Takata R Obara W Fujioka T	泌尿器科学講座
Novapublishers	VitaminD and Renal cell carcinoma :preclinical studies and clinical applications. Subtitled, ahead of print	Iwasaki K Fujioka T	泌尿器科学講座
ONCOLOGY LETTERS 1 697-701,2010	Expression of hypoxia-inducible protein 2 in renal cell carcinoma: A promising candidate for molecular targeting therapy	Seo T (Konda R) Sugimura J Iwasaki K (Nakamura Y) Fujioka T	泌尿器科学講座
Int J Urol 16:339-353,2009	Evidence-based clinical practice guidelines for renal cell carcinoma (Summary--JUA 2007 Edition).	Fujioka T Obara W	泌尿器科学講座
Int J Urol 17:189-191,2009	Detection of human papillomavirus in a urothelial carcinoma mimicking urethral caruncle.	Tatemichi Y Oikawa H Maesawa C Ambo J Sato M Koike H Sato T Fujioka T	泌尿器科学講座
Oncogene 28:2849-2859,2009	Overexpressing of PKIB, in prostate cancer promotes its aggressiveness by linking between PKA and Akt pathways	(S Chung) (Furihata M) (Tamura K) (Uemura M) (Daigo Y) (Nasu Y) (Miki T) (Shuin T) Fujioka T (Nakamura Y)	泌尿器科学講座
Cancer Res 69(20):8133-8140,2009	Novel Lipogenic Enzyme ELOVL7 IS Involved in Prostate Cancer Growth through Saturated Long-Chain Fatty Acid Metabolism	(Tamura K) (Makino A) (Fracoise Iullin-Matsuda) (Kobayashi T) (Furihata T) (Suyoun Chung) (Ashida S) (Miki T) Fujioka T (Shuin T) (Nakamura Y)	泌尿器科学講座
ONCOLOGY REPORTS 21:305-312,2009	Involvement of TMEM 22 overexpression in the growth of renal cell carcinoma cells	(Dobashi S) (Katagiri T) (Hirota E) (Ashida S) (Daigo Y) (Shuin T) Fujioka T (Miki T)	泌尿器科学講座
Interventional Radiology 24:5-10,2009	頭頸部癌の動注化学療法—頭頸部の領域別血管解剖	中里 龍彦	放射線学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔腫瘍学会誌 21(3):198-203,2009	口腔癌放射線治療の現状と展望—放射線併用動注化学療法—	中里 龍彦	放射線学講座
脈管学 49:517-521,2009	Adamkiewicz 動脈のCTAとMRA	吉岡 邦浩	放射線学講座
断層画像研究会雑誌 36(2):96-104,2009	EBMの実践と画像診断・IVR研究のストラテジー—IVRのエビデンスを創るための研究デザイン	曾根 美雪 江原 茂	放射線学講座
画像診断 29(5):532-539,2009	IVR医のための臨床研究の基本	曾根 美雪 江原 茂	放射線学講座
臨床画像 25(12):96-101,2009	頭頸部-鼓室内腫瘍	藪内 伴憲 中里 龍彦 佐藤 宏昭	放射線学講座
癌の臨床 55(6):421-426,2009	緩和ケアチームの現状と展望—当院における緩和ケアチームの活動状況と今後の展望	木村 祐輔 池田 健一郎 曾根 美雪	放射線学講座
J Jpn Soc Oral Tumor 21:37-43,2009	当科における口腔扁平上皮癌に対するドセタキセルを主体とした放射線併用超選択的動注化学療法の効果と副作用の検討	菅野 真人 中里 龍彦	放射線学講座
癌と化学療法 36(13):2495-2501,2009	固形がんの新効果判定基準 改訂RECIST ガイドライン (version 1.1)	渡辺 裕一 岡田 守人 曾根 美雪	放射線学講座
Eur Radiol 19 816-828,2009	Coronary CT angiography using 64 detector rows: method and design of the multi-center trial CORF-64.	Yoshioka K	放射線学講座
Brachytherapy 9(1):71-75,2010	Duodenal complications in radiotherapy for bile duct cancer: a dose-volume histogram analysis.	Nakamura R Katoh K Sone M Oikawa H Ehara S	放射線学講座
International Journal of Radiation Oncology, Biology & Physics 175:455-462,2009	Targeted Delivery of Chemotherapeutic Agents by using Improved Radiosensitive Liquid-Core Microcapsules and Assessment of Their Antitumor Effect.	Harada S Ehara S	放射線学講座
BMC Medical Imaging 10(2),2010	Balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric varices: the relationship between the clinical outcome and gastrosplenic shunt occlusion.	Katoh K, et al	放射線学講座
Int. J. Radiation Oncology Biol Phys 75(2):338-342,2009	Radiotherapy and concomitant intra-arterial docetaxel combined with systemic 5-fluorouracil and cisplatin for oropharyngeal cancer: a preliminary report—improvement of locoregional control of oropharyngeal cancer.	Oikawa H Nakamura R Nakasato T, et al.	放射線学講座
Internal Medicine 49:1089-1095,2010	Risk factors concerning sternal bone marrow aspiration and patient safety in Japan.	Inoue H Nakasato T Yamaguchi K Nakamura Y Oshida S Ehara S	放射線学講座
The open otorhinolaryngology Journal 3:30-33,2009	Labyrinthine cyst arising in a longstanding cavity after a canal wall down mastoidectomy.	Sato H Fukuda K Mizukawa A Nakasato T Uesugi N	放射線学講座
Med Sci Monit 15(7):CS117-122,2009	Clinical findings of hibernoma of the buttock and thigh: rare involvements and extremely high uptake of FDG-PET	Nishida J Ehara S Shiraishi H Tada H Satoh T Okada K Shimamura T	放射線学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Clin Oncol 2010	Phase I / II Study of Hepatic Arterial Infusion Chemotherapy With Gemcitabine in Patients With Unresectable Intrahepatic Cholangiocarcinoma (JIVROSG-0301).	Inaba Y Sone M Arai Y, et al	放射線学講座
Am J Roentgenol 194(3):746-753,2010	Patterns of soft-tissue tumor extension in and out of the pelvis.	Sugawara S Ehara S Hitachi S Okada K	放射線学講座
Acta Radiol 51(2):183-186,2010	Hand and wrist arthritis of Behcet disease: imaging features.	Sugawara S Ehara S Hitachi S Sugimoto H	放射線学講座
Clin Imaging 34(1):47-52,2010	Proton magnetic resonance spectroscopy of musculoskeletal lesions at 3 T with metabolite quantification.	Lee CW Lee JH Kim DH Min HS Park BK Cho HS Kang HG Suh JS Ehara S	放射線学講座
Medical Postgraduates 47(2):31-36,2009	Examination of procalcitonin value by a difference of origin bacteria in patients with sepsis	Takahashi G Sato N Suzuki Y Kojika M Miyata M Ishibe Y Kikuchi S Matsumoto N Shozushima T Shioya N Shibata S Yaegashi Y Kasai T Endo S	救急医学講座
Medical Postgraduates 47(2):88-95,2009	重症敗血症に対するIVIG療法のプロカルシトニン値による評価	高橋 学 鈴木 泰 吉川 智宏 秋富 慎司 星川 浩一 小豆島 立頼 松本 尚也 真壁 秀幸 塩谷 信喜 柴田 繁啓 青木 毅一 山田 裕彦 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medical Postgraduates 47(2):102-107,2009	Administration of Sivelestat sodium to non-intubated patients with acute lung injury (ALI)/acute respiratory distress syndrome (ARDS)	Takahashi G Kojika M Kikawa T Hoshikawa K Akitomi S Kikuchi S Makabe H Shioya N Shibata S Aoki K Suzuki Y Yamada Y Sato N Inoue Y Endo S	救急医学講座
Medical Postgraduates 47(2):108-111,2009	HMGBI値を早期から検討した熱傷に合併した敗血症性ARDSの一例	松本 尚也 山田 裕彦 塩谷 信喜 高橋 学 石部 頼子 菊池 哲 小豆島 立頼 菅 重典 小野寺 ちあき 増田 卓之 佐藤 寿穂 柴田 繁啓 鈴木 泰 遠藤 重厚	救急医学講座
日本外科感染症学会雑誌 6(2):121-125,2009	【外科感染症早期診断法の進歩】 感染症早期診断法 (In Situ Hybridization法) 陽性症例におけるプロカルシトニン値の検討	高橋 学 佐藤 信博 柴田 繁啓 小鹿 雅博 遠藤 重厚	救急医学講座
日本集中治療医学会雑誌 16(2):157-161,2009	Soluble adhesion molecules and cytokines in septic acute lung injury patients	Shioya N Shibata S Sato N Kojika M Takahashi G Matsumoto N Suzuki Y Endo S	救急医学講座
臨床消化器内科 24(8):1145-1152,2009	【消化管出血 最近の話題】 小児消化管出血への対応	井上 義博 藤野 靖久 小野寺 誠 菊池 哲 遠藤 重厚 米沢 俊一	救急医学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medical Postgraduates 47(3):172-175,2009	敗血症性ARDS発症早期から継続してSP-Dとtype II PLA2を検討した一例	松本 尚也 小鹿 雅博 高橋 学 吉川 智宏 星川 浩一 秋富 慎司 青木 毅一 菊池 哲 小野寺 誠 藤野 靖久 高橋 進 柴田 繁啓 鈴木 泰 佐藤 信博 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座
Medical Postgraduates 47(3):180-174,2009	A case report on consecutive measurements of nitrite/nitrate(NOx) and cytokines from the early atage of septic acute respiratory distress syndrome(ARDS)	Akitomi S Sato N Kojika M Takahashi G Kikkawa T Hoshikawa K Takahashi S Shioya N Shibata S Aoki K Suzuki Y Inoue Y Endo S	救急医学講座
Medical Postgraduates 47(3):185-187,2009	トロンボモジュリン値とプロテインC活性を継続して測定した敗血症性ショックの一例	菊池 哲 高橋 学 柴田 繁啓 小鹿 雅博 松本 尚也 石部 頼子 真壁 秀幸 塩谷 信喜 高橋 進 鈴木 泰 山田 裕彦 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座
日本腹部救急医学会雑誌 29(5):735-738,2009	【腹部救急における敗血症の病態と治療戦略 特に血液浄化療法について】重症敗血症に対するサイトカイン吸着カラムの臨床的効果	鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 佐藤 信博 遠藤 重厚	救急医学講座
Medicina 46(7):1076-1078,2009	【一般内科診療に役立つ消化器内視鏡ガイド コンサルテーションのポイントから最新知識まで】 上部消化管の内視鏡診療【治療】 緊急内視鏡に必要な知識	井上 義博 藤野 靖久 小野寺 誠	救急医学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本腹部救急医学会雑誌 29(6):829-834,2009	腹膜炎手術においてドレーンを挿入すべきか否か 予防的ドレーン挿入の再検討	小鹿 雅博 佐藤 信博 八重樫 泰法 高橋 学 秋富 慎司 星川 浩一 青木 毅一 吉川 智宏 井上 義博 若林 剛 遠藤 重厚	救急医学講座
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 13(1):28-30,2009	様々の液性因子からみた敗血症性ALI/ARDSに対するPMX-DHP効果の検討	柴田 繁啓 佐藤 信博 鈴木 泰 青木 毅一 小鹿 雅博 吉川 智宏 星川 浩一 秋富 慎司 高橋 学 松本 尚也 塩谷 信喜 真壁 秀幸 高橋 進 藤野 靖久 小野寺 誠 大間々 真一 山田 裕彦 吉田 雄樹 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座
エンドトキシン血症救命治療研究会誌 13(1):84-88,2009	DICを合併した敗血症性ショック患者に対するPMX-DHP施行時のトロンボモジュリン値およびプロテインC活性値の検討	菅 重典 小野寺 ちあき 小豆島 立頼 松本 尚也 菊池 哲 増田 卓之 佐藤 寿穂 千田 光平 富田 美智子 高橋 学 石部 頼子 鈴木 道大 小鹿 雅博 真壁 秀幸 柴田 繁啓 塩谷 信喜 大間々 真一 山田 裕彦 鈴木 泰 吉田 雄樹 佐藤 信博 青木 英彦 井上 義博 遠藤 重厚	救急医学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
岩手医学雑誌 61(5):283-293,2009	Assessment of high mobility group box 1 values in the early stage after the onset of ALI/ARDS and the outcome	Kikuchi S Kojika M Takahashi G Onodera M Fujino Y Shibata S Suzuki Y Inoue Y Endo S	救急医学講座
岩手医学雑誌 61(5):295-304,2009	The balance of nitrite/nitrate and transforming growth factor- β 1 levels is important in the occurrence of septic shock	Kasai T Suzuki Y Kojika M Takahashi G Makabe H Shibata S Yamada Y Inoue Y Endo S	救急医学講座
岩手医学雑誌 61(5):305-312,2009	Examination of hematopoietic factors in burn patients with disseminated intravascular coagulation.	Minagawa Y Yamada Y Makabe H Shioya N Takahashi G Matsumoto N Ishibe Y Endo S	救急医学講座
BMC Psychiatry 10:4,2010	Study of the outcome of suicide attempts: characteristics of hospitalization in a psychiatric ward group.	Kudo K Otsuka K Endo J Yoshida T Isono H Yambe T Nakamura H Kawamura S Koeda A Yagi J Kemuyama N Harada H Chida F Endo S Sakai A	救急医学講座
Medical Postgraduates 48(1):19-24,2010	Evaluation of responses to IVIG therapy in patients with severe sepsis and septic shock by soluble CD14 subtype monitoring	Takahashi G Suzuki Y Kojika M Matsumoto N Shozushima T Makabe H Yamada Y Shioya N Shibata S Shirakawa K Endo S	救急医学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Medical Postgraduates 48(1):25-27,2010	Severity assessment of sepsis by determination of the soluble CD14 subtype using the POC test	Takahashi G Suzuki Y Kojika M Matsumoto N Kikuchi S Shozushima T Kan S Onodera C Masuda T Sato H Shioya N Shibata S Shirakawa K Endo S	救急医学講座
Medical Postgraduates 48(1):46-50,2010	Serum levels of soluble CD14 subtype reflect the APACHE II and SOFA Scores	Kojika M Takahashi G Matsumoto N Kikkawa T Hoshikawa K Shioya N Shibata S Suzuki Y Aoki H Shirakawa K Endo S	救急医学講座
日本救急医学会雑誌 21(3):126-130,2010	Blue Rhino法による経皮的気管切開術で皮下気腫、縦隔気腫、および気胸を合併した1症例と合併症予防策について	大間々 真一 吉田 雄樹 小笠原 邦昭 遠藤 重厚	救急医学講座
Journal of Infection & Chemotherapy 16(2):94-99,2010	Effect of linezolid on cytokine production capacity and plasma endotoxin levels in response to lipopolysaccharide stimulation of whole blood	Takahashi G Sato N Yaegashi Y Kojika M Matsumoto N Kikkawa T Syouzushima T Akitomi S Aoki K Ito N Hoshikawa K Suzuki Y Inoue Y Wakabayashi G Endo S	救急医学講座

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
岩手医学雑誌 62(1):1-13,2010	敗血症診断マーカーとしてのプロカルシトニン測定の意義	遠藤 重厚 鈴木 泰 小鹿 雅博 高橋 学 小豆島 立頼 葛西 健 井上 義博 青木 英彦 吉田 裕樹 山田 裕彦 藤野 靖久 照井 克俊 小野寺 誠 高橋 進 真壁 秀幸 大間々 真一 及川 博隆 塩谷 信喜 星川 浩一 松浦 秀樹 吉川 智宏 秋富 慎司 石部 頼子 松本 尚也 高橋 智弘 小島 剛史 菊池 哲	救急医学講座
治療 92(4):706-708,2010	人工臓臓による持続的インスリン投与の試み 敗血症術後症例に対する使用経験	吉川 智宏 高橋 学 星川 浩一 秋富 慎司 小鹿 雅博 遠藤 重厚	救急医学講座
日本歯科麻酔学会雑誌 37:54-55,2009	Ⅲ型完全大血管転位疾患児に対する歯科治療時の全身麻酔経験	小川 さおり 村上 加奈 石川 亨 四戸 豊 佐藤 雅仁 城 茂治	歯科麻酔科
岩手医科大学歯学雑誌 34(2):51-58,2009	三尖閉鎖症を合併した歯科治療患者の鎮静管理経験—近赤外線酸素モニターの応用	四戸 豊 小川 さおり 坂本 望 佐藤 健一 佐藤 雅仁 城 茂治	歯科麻酔科
日本歯科麻酔学会雑誌 38(1):6-12,2010	静脈内鎮静法時の視覚性記憶課題負荷による健忘効果の検討—プロポフォールと塩酸デクスメトミジンとの比較—	小川 さおり 四戸 豊 村上 加奈 城 茂治	歯科麻酔科

計 298件

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小林 誠一郎		
管理担当者氏名	病院事務部長 柳沢 茂人	看護部長 及川 吏智子	薬剤部長 高橋 勝雄
	医事課長 塚澤 仁敏	医務課長 水本 義久	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部	診療記録等の管理は、1患者1番号制(ID番号)により管理している。入院診療録は、1入院1診療録とし、ターミナル・デジット方式による収納としている。外来診療録は1患者各診療科別診療録とし、各診療科による収納としている。 病院日誌等の各種日誌に関しては、診療科ごとに1年分をまとめて保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事職員課	1職員1番号(ID番号)により管理している。 1職員1部の人事記録簿を人事職員課にて収納管理している。
	高度の医療の提供の実績	病院事務部 医事課	各技術ごとに病院事務部医務課にて診療報酬明細書をファイリングして管理している。
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院事務部 医務課	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	高度の医療の研修の実績	〃	各診療科からの報告書を基に電子媒体化を行い病院事務部医務課にて管理している。
	閲覧実績	〃	閲覧ごとに詳細情報を電子媒体化し病院事務部医務課にて管理している。
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院事務部 医事課	紹介日、紹介先診療科ごとに管理システムに入力し病院事務部医務課内医療連携室にて管理している。
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院事務部 医務課 薬剤部	医療情報システムからデータを抽出し、紙媒体および電子媒体に手管理している。
	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項各号及び掲げる体制の確保の状況	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部

	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	〃	委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめ紙媒体で医療安全管理部にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	〃	全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し医療安全管理部にて管理している。その他研修については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	〃	医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	医療に係る安全管理のための指針に規定し電子媒体および紙媒体で医療安全管理部にて管理している。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部及び 医療福祉相談室	各科から寄せられた相談の内容を「相談記録票」にて医療福祉相談室に報告を行い、医療福祉相談室において「受付簿」に記載して報告・記録を綴り、保管している。

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況		
	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室	法律の改正等必要に応じて適宜指針を改定し、電子媒体および紙媒体で医療安全管理部にて管理している。改廃内容については岩手医科大学規定集編纂総括管理者に届け出ている。
	院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室	委員会資料、議事録、出席者名簿について開催毎にまとめ紙媒体で感染症対策室にて管理している。議事録については電子媒体でも管理している。
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実態状況	院内感染対策室	全職員対象研修については電子媒体管理システムに出欠状況を入力し感染症対策室にて管理している。その他講習会については参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で感染症対策室にて管理している。
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室	院内感染対策委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて感染症対策室にて管理している。
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部	参加者名簿を作成し紙媒体と電子媒体で医療安全管理部にて管理している。
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	医薬品安全管理責任者と医療安全管理部で作成および修正を行い院内各部署へ配布しており、電子媒体にて医療安全管理部にて管理している。
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	医療安全推進委員会にて報告し、また院内通知文にて職員に周知している。その内容については電子媒体ならびに紙媒体にて医療安全管理部にて管理している。
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部 総務部人事職員課	医療安全管理部内電子媒体で管理している。また併せて人事職員課により職員台帳にて管理している。
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室	医療機器材料部会と医療安全管理部が合同で開催する講習会、または部署ごとに実施する研修記録全てを管理している。	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室	院内中央管理機器については臨床工学室を窓口として実施管理。部署配置機器は各部署ごとに実施記録管理している。	

	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	臨床工学室が情報収集、文章作成を行い、医療安全管理部より各部署へ配布管理となっている。
--	---	---------	---

(注) 「診療に関する諸記録」欄は、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧管理者氏名	病院事務部長 柳 沢 茂 人
閲覧担当者氏名	病院事務部医務課長 水 本 義 久 病院事務部医事課長 塚 澤 仁 敏 総務部次長 横 沢 正 浩
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、カンファレンスルーム、会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 2 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	54.9%	算定期間	平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		15,368人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		18,818人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,615人
	D: 初診の患者の数		46,322人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容: ①当該病院における安全管理に関する基本的考え方</p> <p>②安全管理委員会(委員会を設ける場合について対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p>③医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④当該病院等における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>⑤医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む)</p> <p>⑦患者からの相談への対応に関する方針</p> <p>⑧その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容: 当該病院等における安全管理の体制確保及び推進のために設ける</p> <p>①重大な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告</p> <p>②重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③安全管理委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 37 回
<p>・ 研修の主な内容: ③医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について当該研修を実施する病院等の従業者への周知徹底を行い、個々の従業者の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識の向上を図る</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有) 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容: ①病院において発生した事故の安全管理委員会への報告。</p> <p>②あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析し、病院における問題点を把握して病院の組織としての改善策の企画立案及び実施状況を評価し病院において情報を共有する。</p> <p>③重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。</p>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の設置状況	有(2名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<p>・所属職員: 専任(2)名 兼任(9)名</p> <p>・活動の主な内容: ①安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存。その他安全管理委員会の庶務に関する活動。</p> <p>②事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び指導を行う。</p> <p>③患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び指導を行う。</p> <p>④事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導を行う。</p> <p>⑤医療安全に係る連絡調整、及びその他医療安全対策の推進に関する活動。</p>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無

医療安全推進委員会主催(認定)講演会・講習会

平成21年度

No.1

年月日	曜日	開始時間	講演者・講師	内容	参加人数
平成21年4月23日	木	16時40分	佐藤 讓	安全体制について	51
平成21年5月8日	金	13時30分	院内インストラクター(看護師)	研修医向け注射研修会	18
平成21年5月13日	水	17時30分	井上義博 他	新人看護師ポンプ講習会①	48
平成21年5月15日	金	17時30分	山田裕彦 他	第1回災害対応訓練	45
平成21年5月19日 他4回	火	17時30分	佐藤 讓 他	総合安全対策講習会	2,238
平成21年5月20日	水	17時30分	井上義博 他	新人看護師ポンプ講習会②	54
平成21年6月17日	水	17時30分	井上義博 他	第1回輸液・シリンジポンプ講習会	49
平成21年6月23日	火	8時30分	高橋あつ子 他	安全対策研修会	39
平成21年6月24日	水	17時30分	看護師部会	静脈留置針挿入研修会	109
平成21年6月26日	金	17時30分	照井克俊 他	第1回BLS講習会	52
平成21年7月8日	水	17時30分	井上義博 他	第1回人工呼吸器・透析器基礎講習会	53
平成21年8月11日	火	17時30分	看護師部会	静脈留置針挿入研修会	113
平成21年8月12日	水	17時30分	井上義博 他	第1回危機回避講習会	45
平成21年9月9日	水	17時30分	井上義博 他	第2回輸液・シリンジポンプ講習会	49
平成21年9月9日	水	13時30分	山田裕彦 他	特殊災害対応訓練	30
平成21年9月16日	水	17時30分	田島英明	メデイカルセーフター講習会	118
平成21年10月8日	木	17時30分	曾根美雪 他	CV講習会	19
平成21年10月14日	水	17時30分	井上義博 他	第2回危機回避講習会	49
平成21年10月16日	金	17時30分	佐藤 讓 他	中途採用者・帰任者対象総合安全対策講習会	80
平成21年10月20日	火	17時30分	看護師部会	静脈留置針挿入研修会	121
平成21年10月29日	木	18時00分	武藤正樹 他	クリニカルパス講演会	226
平成21年11月2日 他3回	月	17時30分	川島孝一郎	終末期医療と生命倫理について	1,680

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) 無
<p>・指針の主な内容:①院内感染対策に関する基本的考え方</p> <p>②院内感染対策のための委員会(委員会を設ける場合を対象とする。)その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</p> <p>③院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本方針</p> <p>④感染症の発生状況の報告に関する基本方針</p> <p>⑤院内感染発生時の対応に関する基本方針</p> <p>⑥患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針</p> <p>⑦その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・活動の主な内容:当該病院等における院内感染対策の推進のために設ける</p> <p>①重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者への報告</p> <p>②院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る</p> <p>③院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う</p> <p>④月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 14 回
<p>・研修の主な内容:◎院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策について、当該研修を実施する病院等の従事者に周知徹底を行うことで、個々の従業者の院内感染に対する意識を高め、業務を遂行する上での技能やチームの一員としての意識の向上等を図る</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.耐性菌検出時、感染症対策室にメールと電話で連絡。また同時に担当医に耐性菌警告書と電話で連絡。 2.感染症発生時、病棟師長・担当医から連絡、感染症報告書の提出 3.検査部から院内感染症情報(1回/週)の報告 4.検査部から感染対策委員会での報告(1回/月) <p>*当院アウトブレイク規程に基づいて対応</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。</p> <p>②重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保。</p> <p>③「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し。</p>	

H21 感染対策講習会

開催プログラム	日時	会場	講師	参加数
① 総合医療安全対策講習会	平成21年5月19日 他ビデオ上映5回	歯科医療センター 4F 講堂	マニユアル講習 医療安全管理部長 佐藤 謙 他	2238
② 医療安全にかかる春季講習会(教育プログラム)	平成21年6月29日 他ビデオ上映4回	歯科医療センター 4F 講堂	新型コロナウイルスパンデミック -医療機関の機能不全を起させないために- 東京慈恵会医科大学 准教授 浦島 充佳 先生	1341
③ 感染対策レベルアップ講習会	平成21年9月28日	歯科医療センター 4F 講堂	熱傷ユニットにおける感染対策 救急科 山田 裕彦 先生 歯科領域における感染対策 小児歯科 田中 光郎 先生 消化器領域における感染対策 消化器肝臓内科 千葉 俊美 先生	274
④ 第6回岩手院内感染対策講習会	平成21年12月5日	岩手教育会館	職業感染防止対策 大阪警察病院 感染管理センター長 水谷 哲 先生	109
⑤ 平成21年度リンクナース会およびVAPチームの活動報告会	平成22年3月9日	歯科医療センター 4F 講堂	1.リンクナース報告 2.VAPチーム報告	189
① 第1回院内感染対策基礎的講習会	平成21年4月27日	記念館9F 2番講義室	日常の感染対策の重要性 (Q&Aから考える) 佐藤 喜久子 副看護部長	124
② 第2回院内感染対策基礎的講習会	平成21年6月22日	記念館9F 2番講義室	標準予防策と感染経路別予防策 (Q&Aから考える) 吉田 優 専任看護師長	100
③ 第3回院内感染対策基礎的講習会	平成21年8月24日	記念館9F 2番講義室	基本から学ぶ感染対策 1.なぜ手洗いが重要なのか 2.間違えると怖い防護用具の着脱方法 小野寺直人 専任薬剤師	168
④ 第4回院内感染対策基礎的講習会	平成21年10月26日	記念館9F 2番講義室	1.エビデンスに基づいた消毒薬の使用 高橋 美枝子 薬剤師 2.職業感染防止対策-針刺しを起したら、起こさないために- 小野寺直人 専任薬剤師	92
⑤ 第5回院内感染対策基礎的講習会	平成21年12月28日	記念館9F 2番講義室	検体採取時の注意点と薬剤耐性菌の重要ポイント	51
⑥ 第6回院内感染対策基礎的講習会 (教育プログラムフォローアップ)	平成22年2月22日	記念館9F 2番講義室	1.標準予防策と感染経路別予防策 吉田 優 専任看護師長 2.当院独自の感染対策 櫻井 滋 感染症対策室長 3.職業感染防止策 小野寺直人 専任薬剤師	111
新型コロナウイルス対策報告会	平成21年4月30日 他ビデオ上映1回	歯科医療センター 4F 講堂	新型コロナウイルスに対する対策・対応 櫻井 滋 感染症対策室長	927
岩手医療関連感染対策セミナー 2009	平成21年6月20日	岩手県民情報センター アイーナホール	CDCガイドラインに基づいた感染対策の実践 県立中央病院 感染管理認定看護師 福田 祐子 先生 他	57
エイズ診療にかかる歯科医療従事者等研修会	平成22年2月11日	岩手県民情報センター アイーナホール	エイズ診療にかかる歯科医療従事者等研修	46

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容:①医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項</p> <p>②医薬品の安全使用のための業務に関する手順書に関する事項</p> <p>③医薬品による副作用等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有)・無)</p> <p>・ 業務の主な内容:◎病院等の規模や特徴に応じて以下の事項を含む手順書について安全管理委員会で協議を行い作成または変更を行う</p> <p>①病院等で用いる医薬品の採用・購入に関する事項</p> <p>②医薬品の管理に関する事項(例＝医薬品の保管場所、薬事法(昭和35年法律第145号)などの法令で適切な管理が求められている医薬品(麻薬・向精神薬、覚せい剤原料、毒薬・劇薬、特定生物由来製品等)の管理方法)</p> <p>③患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項(例＝患者情報(薬剤の服用歴、入院時に持参してきた薬剤等)の収集、処方箋の記載方法、調剤方法、処方箋や調剤薬の監査方法)</p> <p>④患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</p> <p>⑤医薬品の安全使用に係る情報の取扱い(収集、提供等)に関する事項</p> <p>⑥他施設(病院等、薬局等)との連携に関する事項</p> <p>◎手順書に基づく業務の実施については、医薬品安全管理責任者に対して、従業者の業務が医薬品業務手順書に基づき行われているか定期的に確認し、確認内容の記録を行う</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>厚生労働省ホームページ、PMDAホームページ、日本医療評価機構ホームページ、製薬会社、日本病院薬剤師会ホームページ、業界新聞等から情報を収集している。</p> <p>また、収集した医薬品情報に関して迅速に適切な措置を講じる体制を構築している。</p> <p>現在、定期的に医療安全推進室からの「医薬品・医療機器等安全性情報」および薬剤部からの「DI ニュース」を通じて情報を周知している。また、必要に応じ医療安全推進室からの医療安全通知および薬剤部からの薬務連絡により緊急の通知に対応している。また、必要に応じて安全使用のための講習会にて改善のための方策を周知・実施している。</p>	

医療機器に係る安全使用のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実態状況	年 50 回以上
<p>・ 研修の主な内容: ◎新しい医療機器の導入時及び特定機能病院における定期研修は以下の研修を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療機器の有効性・安全性に関する事項 ○医療機器の使用方法に関する事項 ○医療機器の保守点検に関する事項 ○医療機器の不具合等が発生した場合の対応(施設内での報告、行政機関への報告等)に関する事項 ○医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項 	
<p>③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況</p> <p>・ 計画の策定 (有)・無)</p> <p>保守点検の主な内容:・臨床工学技士による保守点検</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回の院内定期点検、および使用年数・作動時間に基づいて消耗部品の交換 ・メンテナンス契約によるメーカーまたは専門業者による保守点検 年1回、機種によっては年2回の外注による動作点検・消耗部品の交換 ・保守契約付リース機器における専門業者による保守点検 年1回のメーカー点検表に基づいた定期点検・消耗部品の交換 	
<p>④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況</p> <p>・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:①医療機器の添付文章、取り扱い説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報の整理及び管理。</p> <p>②医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を医療機器に携わる職員に対して適切に提供する。</p> <p>③管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集に努め、病院管理者への報告を行う。</p>	